

年 報

—平成29年度—



No. 7

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目 次

I	沿革	1
II	施設概要	
	1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
	2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）	3
III	教育普及等	
	1. 常設展示	4
	2. 企画展示	6
	3. 教育普及の実績	12
	4. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	17
	5. 地域連携	17
	6. 世界遺産登録へ向けた取り組み	19
	7. 調査研究	20
	8. 広報・情報発信	22
	9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	23
IV	埋蔵文化財調査等	
	1. 発掘調査事業概要	24
	2. 調査概要	28
	3. 発掘調査報告書	37
	4. 情報公開	37
	5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業	38
	6. 埋蔵文化財活用活性化事業	38
V	史跡整備	
	1. 一王寺遺跡内容確認調査	39
	2. 史跡維持管理	39
	3. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画	39
VI	管理運営概要	
	1. 協議会等	40
	2. 日記抄	41
	3. 来館者利用状況	44
	4. 市内小中学校利用状況	45
	5. 資料利用状況	45
	6. 資料収蔵	49
	7. 予算概要	49
VII	組織・関係団体	
	1. 組織及び職員構成	50
	2. 八戸縄文保存協会	50
	3. 是川文化財愛護会	50
	4. 是川縄文隊	51
	5. 縄文是川ボランティア	51
	利用案内	52

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成23年（2011）に開館した。是川遺跡、風張1遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資する。

また、八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成6年（1994）に開館した。平成23年（2011）5月に一時休館し、展示リニューアルを経て、同年7月10日に改めて開館した。なお平成23年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和32年（1957）： 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和36年（1961）： 泉山岩次郎氏、斐次郎氏ご兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和37年（1962）： 寄贈品のうち、中居遺跡出土品633点が重要文化財に指定。
- 昭和38年（1963）： 「考古館」完成（9月30日）。
- 昭和49年（1974）： 「歴史民俗資料館」完成（3月30日）。
- 昭和50年（1975）： 「歴史民俗資料館」開館（5月10日）。
- 平成5年（1993）： 3月「縄文学習館」基本設計完成。 4月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5月 建築予定地発掘調査実施（8月終了）・地質調査完了。
6月 映像展示ソフト制作委託実施。 7月 建築実施設計完成。
8月 展示実施設計完成。
- 平成6年（1994）： 3月 建築・設備・展示各工事完成。
6月「縄文学習館」開館（6月24日、八戸市博物館分館）。
- 平成7年（1995）： 是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2月22日）。
- 平成9年（1997）： 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成15年（2003）： 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成16年（2004）： 「是川縄文の里整備検討委員会」が（仮称）是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。史跡追加指定。
- 平成17年（2005）： （仮称）是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成18年（2006）： 施設の機能にあわせ（仮称）是川縄文館と改める。プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
- 平成19年（2007）： 実施設計を実施。
- 平成20年（2008）： 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成21年（2009）： 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成22年（2010）： 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成23年（2011）： 4月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定（総数963点）。
7月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館（7月10日）。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催（7月10日～9月25日）。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催（7月17日）。
8月 来館者1万人達成。 ※本館観覧者数
10月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催（10月15日～11月13日）。
- 平成24年（2012）： 7月 開館1周年行事開催（7月7日～7月24日）。 来館者5万人達成。 ※本館入館者総数
- 平成25年（2013）： 10月 史跡追加指定（史跡総面積213,497㎡、遺跡全体の56.78%）。
- 平成26年（2014）： 6月 来館者10万人達成。 ※本館入館者総数
- 平成28年（2016）： 5月 来館者15万人達成。 ※本館入館者総数
7月 開館5周年行事開催（7月9日～7月10日）。
10月 史跡追加指定（史跡総面積219,009㎡、遺跡全体の58.24%）。
- 平成30年（2018）： 1月 来館者20万人達成。 ※本館入館者総数

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
- 住所：青森県八戸市大字是川字横山1

(2) 施設の概要

- 構造：1階鉄筋コンクリート造+2階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：2,408.19㎡ 2階：2,185.63㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室(応接室)	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	常設展示室	503.01	出土品整理室		143.47	
	保存科学室	55.90	国宝展示室	46.60	図面整理室		87.86	
	作業室	54.90	企画展示室	178.37	写真撮影室		41.66	
	ミュージアムショップ	78.59	展示準備室	81.94	ベビーコーナー		4.48	

○駐車場：普通車86台、大型バス6台、障がい者用3台 ○トイレ：2か所（障がい者用含む、職員用除く）

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439千円

- 基本・実施設計：87,740千円 ○外構工事等：189,120千円 ○本棟工事等：1,628,434千円
- 器材庫建築工事等：50,012千円 ○展示工事：287,133千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）
- 住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

(2) 施設の概要

- 構造：1階・2階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設
- 展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：519.940㎡ 2階：103.880㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	事務室	29.975	1F	常設展示室	118.673	2F	資料整理室	34.504
	情報資料室	29.635		体験学習室	80.750		収蔵庫	46.216

- 駐車場：普通車8台 ○トイレ：1か所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

- 基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円
- 展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

(5) 展示改修等事業費

- 事業費：8,810千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発(株)



八戸市縄文学習館
（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）

III 教育普及等

1. 常設展示

(1) 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

常設展示は、直感的な手法で是川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行う（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイメージ・シアターは、来館者に是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多用に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成する。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川の美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。平成29年度は、新たに第5回「八戸の古代-田面木遺跡」を公開した。合掌土偶は「国宝展示室」の防震・密閉式展示ケースにて展示されている。

なお、1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

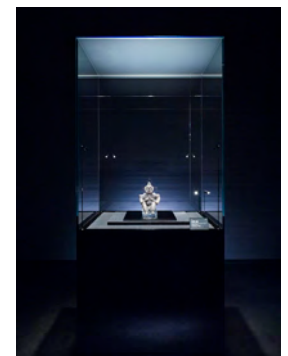
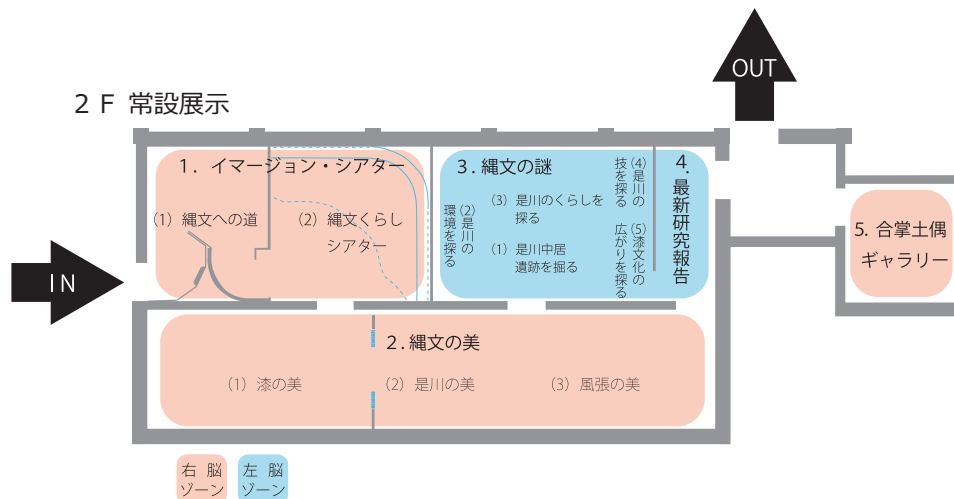
展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	49	47	2	-	-	-
是川の美	226	182	44	-	-	-
風張の美	203	203	-	-	-	-
縄文の謎	81	45	34	1	24	7
最新研究報告	37	-	37	-	-	-
国宝展示室	1	※国宝1	-	-	-	-
計	597	478	87	1	24	7



縄文の美

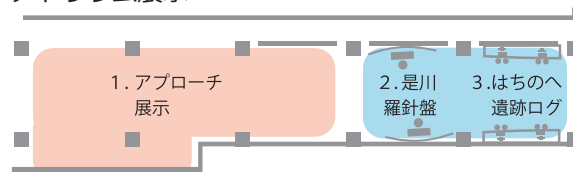
常設展示品（平成29年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割



国宝展示室

1 F アトリウム展示



是川羅針盤

展示構成

(2) 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。

I 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎ご兄弟を顕彰し、泉山ご兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

II 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡（縄文時代前期～中期）、堀田遺跡（縄文時代中期）、中居遺跡（縄文時代晩期）について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

III 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。

IV 埋蔵文化財センターの役割

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成し、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。

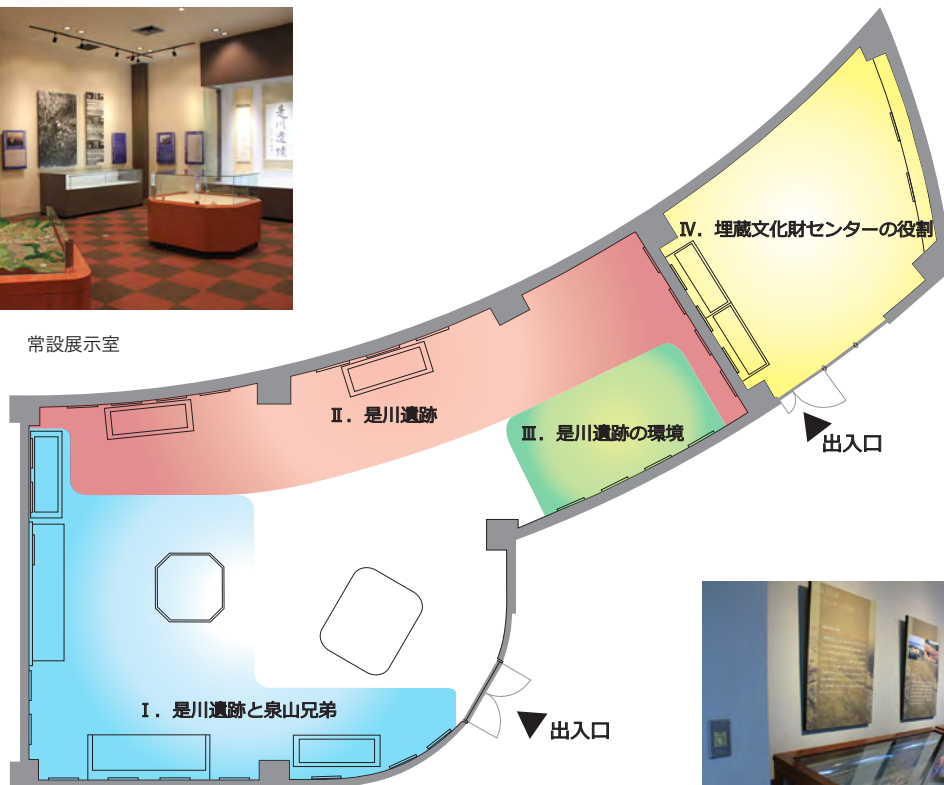
展示室	展示品	文献史料	民俗資料
是川遺跡と泉山兄弟	61	51	10
是川遺跡	3	3	-
埋蔵文化財センターの役割	6	6	-
計	70	60	10

常設展示品（平成 29 年度）

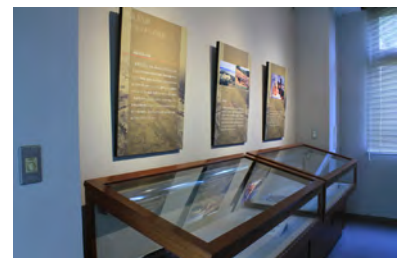
※埋蔵文化財の展示公開はしていない



常設展示室



展示構成



IV 埋蔵文化財センターの役割

2. 企画展示

平成 29 年度は、春季企画展「掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～」、特別展「発掘された日本列島 2017 新発見考古速報」、秋季企画展「是川縄文ムラを観る・描く-人と風と草木のものがたり-」のほか、冬季にパネル展「伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3-」を開催した。

(1) 春季企画展「掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～」

開催期間 4月29日(金)～6月25日(日) 52日間

観覧者数 4,187名(80人/日)

展示資料数 138点

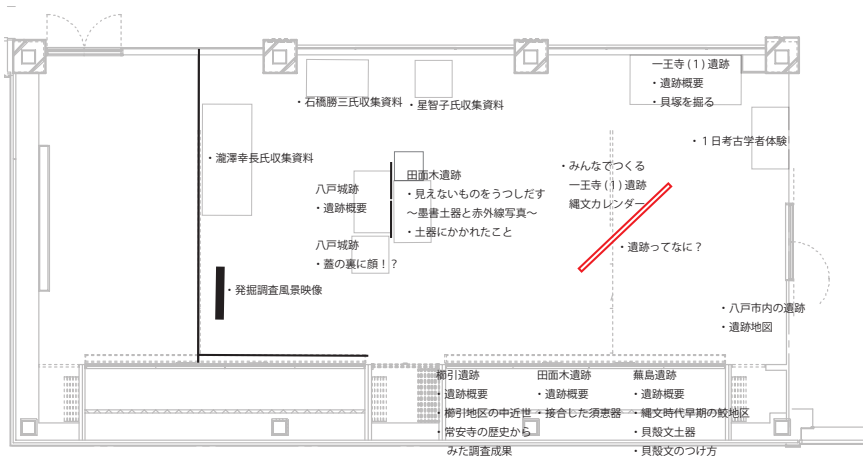
印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚 解説リーフレット(A3版)5,000枚
用語解説・展示品一覧(A3版)5,000枚、招待券670枚

主な展示品 縄文土器(一王寺遺跡)、石製錘(蕪島遺跡)、陶磁器(八戸城跡)、土師器(田面木遺跡)、
須恵器(田面木遺跡)、骨角製品(一王寺遺跡)

併催行事 一日考古学者体験 4/29 午前10時～・午後2時～

ギャラリートーク 5/13、6/10 各日とも午前11時～・午後2時～

平成 28 年度に八戸市内で行われた、主要な発掘調査の成果及び出土品を紹介した。会期中には、調査を担当した学芸員によるギャラリートークのほか、「一日考古学者体験～貝塚の土から貝や土器を調べよう～」を開催した。



展示構成



春季企画展リーフレット



展示状況



ギャラリートーク

(2) 特別展「発掘された日本列島 2017 新発見考古速報」

開催期間	8月5日(土)～9月18日(日) 42日間
観覧者数	7,600名(180人/日)
展示資料数	497点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚 観覧券10,000枚 招待券1,000枚
主な展示品	細石刃(長崎県百花台遺跡)、漆器・クッキー状炭化物(山形県押出遺跡)、貝製品・骨製品(鹿児島県面縄貝塚)、弥生土器・木器(神奈川県中里遺跡)、銅鐸・土製品(岡山県神明遺跡)、銅鐸・特殊器台(香川県天満・宮西遺跡)、銅鏡・鉄製品・玉類(宮城県入の沢遺跡)、埴輪(島根県石屋古墳)、頭椎大刀・鉄製品(千葉県根戸船戸遺跡1号墳)、海老錠・土師器・須恵器(奈良県飛鳥京跡苑池)、三彩瓦(奈良県唐招提寺旧境内)、銅鏡・灰釉陶器(愛知県普門寺旧境内)、白磁四耳壺・古瀬戸水注(香川県高松城跡、浜ノ町遺跡)、鏝状銅製品・ガラス玉・銅銭(北海道オニキシベ2遺跡)、鬼瓦・石製日時計(鹿児島県鹿児島城跡)、縄文土器・貝類・魚骨類(岩手県高根遺跡)、製塩土器・石帯(宮城県江ノ浜貝塚)、土師器・玉類(福島県五畝田・犬這遺跡)、縄文土器・骨角器(滋賀県粟津湖底遺跡)、弥生土器・備前焼(香川県瀬戸内海海揚がり遺物)、瓦(福岡県相島海底遺跡)、陶磁器(鹿児島県倉木崎海底遺跡)、てつほう(長崎県鷹島神崎遺跡)、砲弾・日本刀・サーベル(北海道開陽丸)
併催行事	特別展ギャラリートーク 8/5,12,19,26,9/2,9,16(各1回)午後2時～ 8/6,13,20,27,9/3,10,17(各2回)午後2時～ 特別展開催記念イベント「はちのへ土偶会へようこそ!」8/11 午前9時30分～ 特別展考古学講座 8/27 午後2時～

日本各地の発掘調査から、特に注目する成果があった遺跡を速報展示する文化庁主催の全国巡回展。八戸市では平成24年以来の5年ぶりの開催となった。国内の最新の発掘調査成果を紹介する速報展示や、近年取り組みが進む水中遺跡の調査研究、東日本大震災からの復興と文化財保護の取り組みを紹介する特集展示とともに、地域展示として「八戸の土偶」を開催した。

併催行事では「特別展考古学講座」や、当館学芸員と青森県埋蔵文化財調査センター専門職員による「特別展ギャラリートーク」に加え、地域展示にちなんだ特別展開催記念イベント「はちのへ土偶会へようこそ!」を開催した。イベントでは「マイフェイバリット DOGU フォト大会!」・「土偶のお面をつくっちゃおう!」・洋野町林郷青年会による「なもみ登場!」・土偶女子 譽田亜紀子氏による「DOGU トーク」の5つのコンテンツを準備した。また会期中は、八戸工業大学第二高等学校と連携し、学生77人が「特別展高校生スタッフ」となり、速報展示・特集展示の展示解説を行った(→p18)。



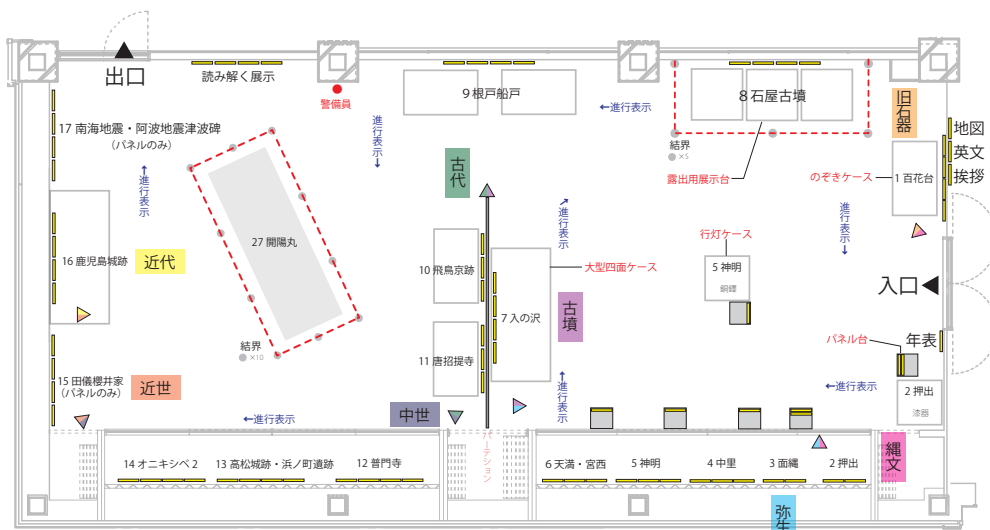
特別展リーフレット



DOGU トーク(譽田亜紀子氏)



特別展高校生スタッフによる解説



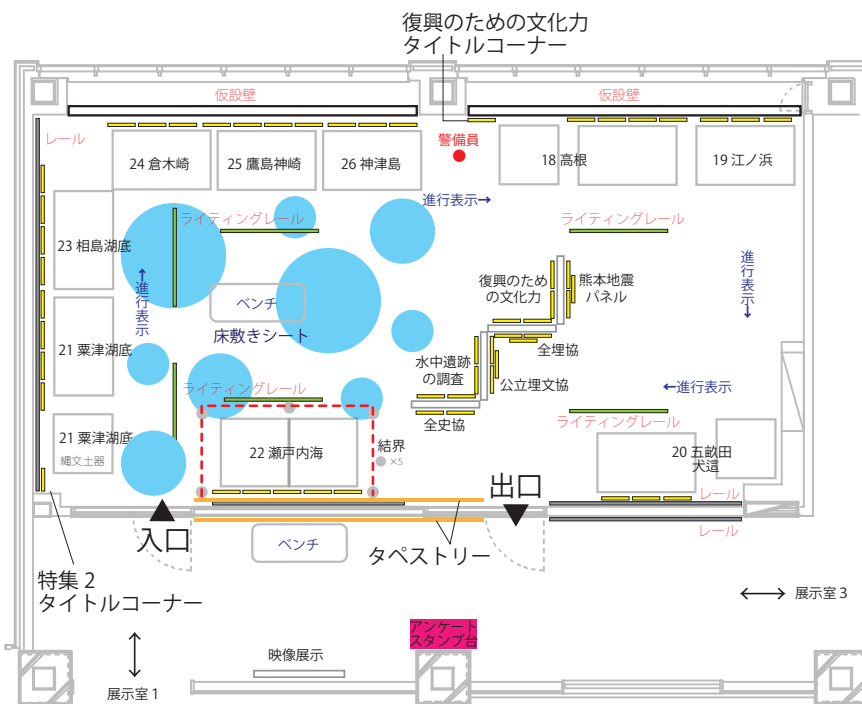
展示構成 (速報展示) : 展示室1 (企画展示室)



展示状況 (速報展示 : 27 開陽丸)



展示状況 (特集展示)



展示構成 (特集展示) : 展示室2 (展示準備室)

○地域展示「八戸の土偶」

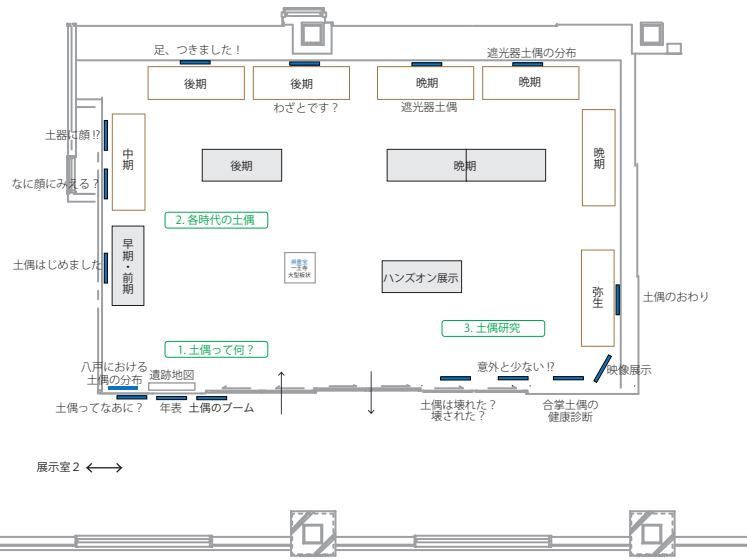
開催期間 8月5日(土)～9月18日(日) 42日間

展示資料数 467点

印刷物 ポスター(B3版)500枚

主な展示品 土偶(一王寺遺跡・中居遺跡・風張1遺跡・荒谷遺跡・畑内遺跡・八幡遺跡・石手洗遺跡)、人面把手(石手洗遺跡・松ヶ崎遺跡)、獣面把手(中居遺跡・風張1遺跡)

特別展「発掘された日本列島2017新発見考古速報」に伴う地域展示。「八戸の土偶」をテーマに、青森県重宝に指定されている板状土偶(青森県一王寺遺跡)をはじめとした八戸で出土した土偶と、関連する資料を展示した。また、八戸における土偶の歴史や、マイクロX線CTによる撮影で判明した合掌土偶の内部構造についても紹介した。



展示構成(地域展示): 展示室3(研修室)



地域展ポスター



展示状況



板状土偶(青森県一王寺遺跡)



映像展示(合掌土偶の内部構造)

III 教育普及等

(3) 秋季企画展「是川縄文ムラを観る・描く - 人と風と草木のものがたり -」

開催期間 10月14日(土)～11月26日(日) 38日間

観覧者数 2,653名(69人/日)

展示資料数 112点

印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚

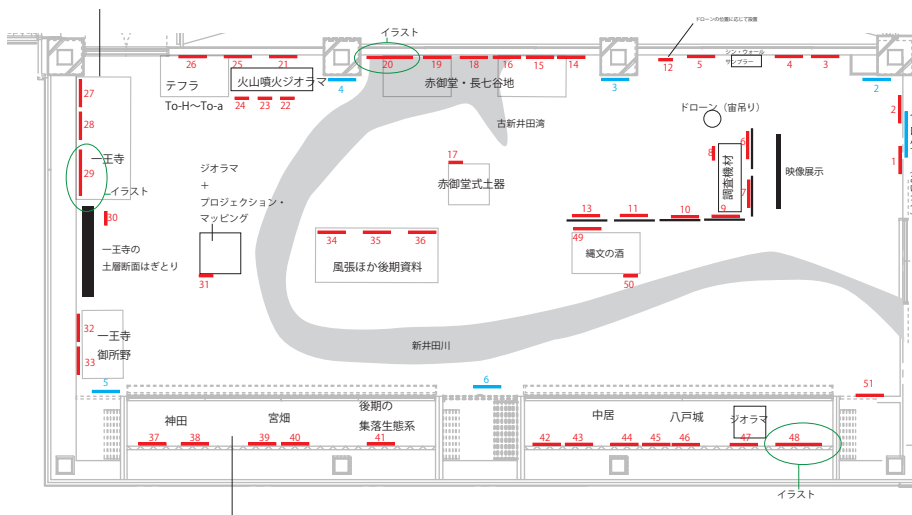
解説リーフレット(A3版)5,000枚 秋季企画展図録(A4版50ページ)500部

主な展示品 貝層断面(青森県一王寺遺跡)、縄文土器(福島県宮畑遺跡、青森県神田遺跡・中居遺跡・一王寺遺跡・風張1遺跡・長七谷地貝塚・八戸城跡)、土製品(福島県宮畑遺跡)、骨角器(青森県一王寺遺跡・長七谷地貝塚・赤御堂遺跡)、石器(福島県宮畑遺跡、青森県中居遺跡・一王寺遺跡・風張1遺跡・赤御堂遺跡)、木製品等(青森県中居遺跡)、動物遺体(青森県中居遺跡・一王寺遺跡)、貝類(青森県長七谷地貝塚)、植物遺体(岩手県御所野遺跡、青森県三内丸山遺跡・中居遺跡・風張1遺跡)、十和田火山灰、UAV(ドローン)、シンウォールサンプラー、酒瓶

併催行事 企画展ギャラリートーク 10/14,21,28,11/4,11,18,25(7回開催)

企画展考古学講座 11/4 午後2時～

東京大学大学院新領域創成科学研究科環境史研究室と平成26年から実施した第2期共同研究の成果展示。縄文人の植物資源利用に重点を置きつつ、縄文時代後半期の八戸地域の環境変動と集落生態系の復原に取り組んだ。展示では、第1期共同研究成果とともに、6年間の共同研究で復原した八戸地域の過去1万年間の環境変動と集落生態系を紹介した。映像展示や共同研究者の考古復元イメージイラストレーター安芸早穂子氏による復元イラスト等を盛り込み、成果をビジュアル化させて公開することに努めた。



展示構成



秋季企画展リーフレット



展示状況



火山の噴火を紹介するジオラマ

(4) パネル展「伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3-」

開催期間 12月16日(土)～3月21日(水) 75日間
 観覧者数 1,948名(25人/日)
 展示資料数 43点
 主な展示品 写真パネル、写真原版レプリカ、
 保存箱、カメラ(八戸市博物館蔵)、
 絵葉書、写真掲載書籍



展示状況

埋蔵文化財活用活性化事業の一環として、平成26年度より実施している写真原板の保存修理事業による写真パネル展。高精度デジタル化によって製作した写真パネルのほか、写真機や保存箱等を展示し、写真による記録の必要性と重要性を紹介した。写真原版は発掘調査時の遺跡の様子や出土品が記録されているガラス乾板である。

開催年度	特別展・企画展	名称	開催期間	日数	入館者数	人/日	資料数
平成23年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10～9/25	77	19,245	275	222
平成23年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15～11/13	27	7,509	278	358
平成24年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成23年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	6,632	125	56
平成24年	特別展	発掘された日本列島2012 新発見考古速報	8/8～9/17	38	7,723	203	600
平成24年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13～11/25	39	3,037	77	169
平成25年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成24年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	4,135	79	120
平成25年	特別展	みみずく土偶と縄文人-関東の晩期安行文化-	7/20～9/2	41	4,577	111	203
平成25年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12～11/24	38	2,884	74	235
平成26年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成25年度発掘資料展～	4/26～6/22	52	3,630	69	138
平成26年	特別展	トーテムポールの人びと～漁労・狩猟採集民の暮らし～	8/1～9/15	42	5,364	128	115
平成26年	秋季企画展	海と火山と縄文人-是川縄文館・東京大学共同研究展示-	10/11～11/24	39	3,168	81	179
平成27年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成26年度発掘資料展～	4/26～6/22	51	4,477	88	190
平成27年	特別展	漆と縄文人	7/25～9/6	39	5,753	148	162
平成27年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10～11/23	39	3,782	97	221
平成27年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真-	12/19～3/21	74	2,775	38	24
平成28年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成27年度発掘資料展～	4/29～6/26	52	4,532	88	190
平成28年	特別展	山の縄文世界-中部高地の縄文時代-	7/23～9/4	39	5,320	136	122
平成28年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8～11/20	38	3,446	91	172
平成28年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2-	12/17～3/20	75	2,336	32	38
平成29年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成28年度発掘資料展～	4/29～6/25	52	4,187	80	138
平成29年	特別展	発掘された日本列島2017 新発見考古速報	8/5～9/18	42	7,600	180	497
平成29年	地域展	八戸の土偶	8/5～9/18	42	-	-	467
平成29年	秋季企画展	是川縄文ムラを観る・描く-人と風と草木のものがたり-	10/14～11/26	38	2,653	69	112
平成29年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3-	12/16～3/21	75	1,948	25	43

過去7年間の特別展・企画展一覧

3. 教育普及の実績

春季企画展一日考古学者体験

実施	講師	参加者(人)
4/29(土)	午前 苧坪祐樹・西村広経(当館学芸員)	19
	午後 苧坪祐樹・西村広経(当館学芸員)	20
合計		39

企画展「掘り day はちのへ」ギャラリートーク(展示解説)

実施	講師	参加者(人)
5/13(土)	横山寛剛・西村広経(当館学芸員)	26
6/10(土)	苧坪祐樹・西村広経(当館学芸員)	4
合計		30

考古学講座

実施	内容	講師	参加者(人)
5/13(土)	世界を目指すJ OMON - その価値を考える -	岡田康博氏(青森県世界文化遺産登録推進室 室長)	106
6/17(土)	貝塚のある縄文のムラ - 史跡入江・高砂貝塚 -	角田隆志氏(洞爺湖町教育委員会 社会教育課 主幹)	70
	4つの環状列石 現代にいきる伊勢堂岱遺跡	榎本剛治氏(北秋田市教育委員会 生涯学習課 主査)	
7/15(土)	平泉から見た世界遺産	八重樫忠郎氏 (平泉町 まちづくり推進課 課長)	58
12/ 9(土)	北海道の縄文 ～海を越えた交流～	阿部千春氏(北海道環境生活部文化・スポーツ局文化振興課 縄文世界遺産推進室 特別研究員)	62
1/13(土)	縄文時代、クリは海を渡った!	鈴木三男氏(東北大学 名誉教授)	54
2/ 3(土)	ある赤塗り土器の旅 ～北海道と北東北の交流～	阿部明義氏(公益財団法人北海道埋蔵文化財センター 主査)	48
合計			398

特別展ギャラリートーク

実施	講師	参加者(人)
8/ 5(土)	市川健夫(当館学芸員)	12
8/ 6(日)	午前 川口潤氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	34
	午後 川口潤氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	15
8/12(土)	上ノ山拓己(当館学芸員)	7
8/13(日)	午前 秦光次郎氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	6
	午後 秦光次郎氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	15
8/19(土)	市川健夫(当館学芸員)	16
8/20(日)	午前 神康夫氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	9
	午後 神康夫氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	8
8/26(土)	上ノ山拓己(当館学芸員)	14
8/27(日)	午前 茅野嘉雄氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	10
	午後 茅野嘉雄氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	11
9/ 2(土)	市川健夫(当館学芸員)	43
9/ 3(日)	午前 秦光次郎氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	3
	午後 秦光次郎氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	8
9/ 9(土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	9
9/10(日)	午前 茅野嘉雄氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	22
	午後 茅野嘉雄氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	17
9/16(土)	市川健夫(当館学芸員)	12
9/17(日)	午前 川口潤氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	6
	午後 川口潤氏(青森県埋蔵文化財調査センター)	6
合計		283

特別展開催記念イベント「はちのへ土偶会へようこそ！」

実施	内容	講師	参加者(人)
8/11(金)	マイフェイバリット DOGU フォト大会!	小久保拓也(当館学芸員)	16
	土偶のお面をつくっちゃおう!	佐藤ちひろ(当館学芸員)	18
	なもみ登場!	岩手県洋野町林郷青年会	56
	DOGU トーク	譽田亜紀子氏	30
合計			120

特別展考古学講座

実施	内容	講師	参加者(人)
8/26(土)	徹底解説! 発掘された日本列島 2017	川畑純氏 (文化庁記念物課 文部科学技官)	62
合計			62

これかわ考古学クラブ

平成 29 年度は、希望者なしのため開講なし

縄文の布を編む講座

実施	内容	講師	参加者(人)
9/2(土)	解説「縄文の布について」	上ノ山拓己(当館学芸員)	10
	実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	
合計			10

縄文土器作り講座

実施	内容	講師	参加者(人)
10/21(土)	素地土作り	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	5
10/28(土)	縄文土器作り(成形作業)	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	8
11/25(土)	縄文土器野焼き	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	14
合計			27

企画展ギャラリートーク(展示解説)

実施	講師	参加者(人)
10/14(土)	辻誠一郎氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)	16
10/21(土)	西村広経(当館学芸員)	10
10/28(土)	市川健夫(当館学芸員)	2
11/4(土)	辻誠一郎氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)	40
11/11(土)	西村広経(当館学芸員)	6
11/18(土)	市川健夫(当館学芸員)	15
11/25(土)	西村広経(当館学芸員)	7
合計		96

企画展考古学講座

実施	内容	講師	参加者(人)
11/4(土)	是川縄文ムラを観る・描く - 人と風と草木のものがたり -	辻誠一郎氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)	105
合計			105

サポートスタッフ研修会 (5～6月)

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/20(土)	縄文是川ボランティアについて	上ノ山拓己(当館学芸員)	19
5/27(土)	是川遺跡について	市川健夫(当館学芸員)	16
6/ 3(土)	是川遺跡のガイドについて	上ノ山拓己(当館学芸員)	19
6/10(土)	是川縄文館常設展示解説①	市川健夫(当館学芸員)	18
6/24(土)	是川縄文館常設展示解説②	上ノ山拓己・佐藤ちひろ(当館学芸員)	16
6/30(土)	博物館研修	上ノ山拓己(当館学芸員)	17
合 計			105

サポートスタッフ研修会 (1～2月)

実施	内 容	講 師	参加者(人)
1/20(土)	縄文是川ボランティアについて	上ノ山拓己(当館学芸員)	18
1/27(土)	縄文学習館展示解説	上ノ山拓己(当館学芸員)	13
2/10(土)	ボランティアってなに？	古館光治(当館館長)	26
2/17(土)	日本の考古学研究と八戸	工藤竹久氏(青森県文化財保護審議会 委員)	18
2/23(金)	博物館研修(岩手県盛岡市・矢巾町)	上ノ山拓己・佐藤ちひろ(当館学芸員)	16
2/24(土)	A E D講習	上ノ山拓己・佐藤ちひろ(当館学芸員)	6
合 計			97

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
夏季前期：4/16(日)～7/16(日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り・滑石勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	243
夏季後期：8/27(日)～10/29(日)		155
冬 季：11/ 5(日)～3/25(日)		238
合 計		636

夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
7/22(土)～8/13(日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り・滑石勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	268
合 計		268

これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
8/20(日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製ペンダント作り・縄文の布を編む	310
合 計		310

遺跡調査報告会

実施	内 容	講 師	参加者(人)
11/11(土)	一王寺遺跡	横山寛剛(当館学芸員)	56
	熊野堂遺跡	宇部則保(当館学芸員)	
	新井田古館遺跡	苧坪祐樹(当館学芸員)	
	雷遺跡	村木淳(当館学芸員)	
合 計			56

トークイベント

実施	内 容	講 師	参加者(人)
3/ 4(日)	ハッピーが隠れてる？ 縄文とアートのおはなし	竹本真紀氏(美術家)・今川和佳子氏(合同会社プロア)・古館光治(当館館長)	15
合 計			15

土曜体験教室

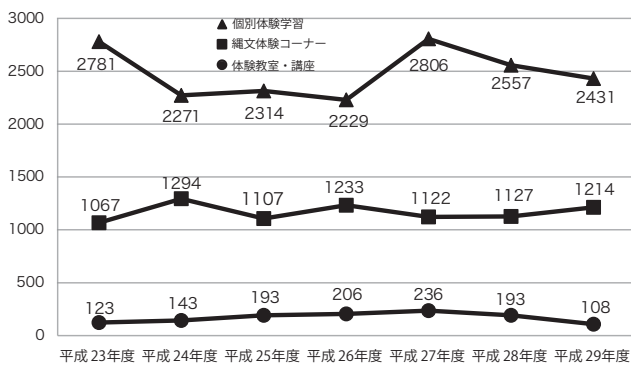
実施	内容	講師	参加者(人)
5/6(土)	滑石でペンダント作り教室	上ノ山拓己(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	16
7/1(土)	合掌土偶作り教室	上ノ山拓己(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	18
9/16(土)	シカの角でペンダント作り教室	上ノ山拓己(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	10
11/18(土)	トチの実で縄文 cooking(於分館)	上ノ山拓己・佐藤ちひろ(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	13
1/6(土)	縄文土器の拓本作り教室	市川健夫・上ノ山拓己・佐藤ちひろ(当 館学芸員)・縄文是川ボランティア	7
3/10(土)	縄文土偶作り教室	上ノ山拓己(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	7
合計			71

学芸員による講話

実施	内容	団体・場所	参加者(人)
4/23(土)	講話「縄文ライフと子育て」	アースデイ青森(於:三沢市)	20
5/24(水)	講話「縄文と観光について」	八戸学院短期大学(於:是川縄文館)	16
5/26(金)	講話「風張遺跡と国宝の土偶について」	下長公民館は川遺跡講座(於:下長公民館)	10
7/7(金)	講話「八戸の歴史と縄文文化」	八戸市総合教育センター(於:是川縄文館)	37
7/8(土)	講話「ふるさとてくてく旅八日町編」	平成29年度八戸市史講座 (於:八戸市中心街方面)	23
7/13(木)	講話「歴史から眺める南部と津軽」	根岸公民館講座(於:根岸公民館)	37
7/25(火)	講話「縄文に親しむ」	むつ市倫理法人会モーニングセミナー (於:むつグランドホテル)	10
8/5(土)	講話「ふるさとてくてく旅館村編」	平成29年度八戸市史講座 (於:八戸市博物館)	25
9/15(金)	講話「縄文について」	鷗盟大学講話(於:是川縄文館)	53
9/22(金)	講話「八戸と縄文」	下長産業振興会(於:きざん八戸)	42
9/30(土)	講話「八戸と縄文」	日本機会学会東北支部秋季講演会 (於:八戸工業大学)	42
10/12(木)	案内「是川縄文館周辺の歴史や文化財」	青森県老人クラブ連合会(是川縄文館発着)	40
12/3(日)	面接授業「是川遺跡から学ぶ考古学」	放送大学八戸サテライトスペース (於:是川縄文館)	27
12/20(水)	講話「縄文に親しむ」	三沢市倫理法人会経営者モーニングセ ミナー(於:三沢シティホテル)	15
3/8(木)	講演「八戸と縄文-縄文人から学ぶ持続可能な社会-」	公益財団法人シルバーリハビリテーション協会 (於:八戸プラザホテル・アーバンホール)	120
3/16(金)	講話「縄文に親しむ」	十和田市倫理法人会経営者モーニング セミナー(於:十和田富士屋ホテル)	11
3/16(金)	講演「世界遺産登録推進と是川石器時代遺跡」	北奥羽開発促進協議会二戸支部管外視 察研修(於:是川縄文館)	11
合計			519

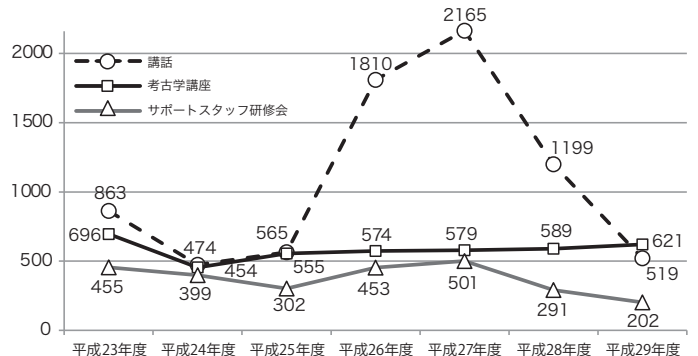
ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち実際の体験参加者数を記載する

月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
4/15	滑石の勾玉作り	東京大学空間情報学センター	2	8/30	縄文土器作り	是川小学校4学年	36
4/21	合掌土偶作り	中居林小学校6年	50	9/4	縄文土器作り	是川小学校5学年	46
4/25	滑石の勾玉作り	南部町立南部小学校6年	14	9/5	板状土偶作り	是川小学校2学年	21
4/26	滑石の勾玉作り	白銀小学校6年	39	9/6	合掌土偶作り	是川小学校6学年	36
4/27	土製ペンダント作り	旭ヶ丘小学校6年	63	9/7	縄文土器作り	体験学習	2
4/28	滑石の勾玉作り	おいらせ町立甲洋小学校6年	26	9/8	縄文土器作り	白銀南中学校1学年	85
5/2	土製耳飾り作り	白山台小学校6年	78	9/9	琥珀勾玉作り	白山台連合町内会女性部	14
5/10	縄文土器作り	新郷村立戸来小学校6年	9	9/12	滑石の勾玉作り	体験学習	1
5/11	滑石の勾玉作り	こども支援センター適応指導教室	13	〃	琥珀勾玉作り	体験学習	1
5/12	土製耳飾り作り	西白山台小学校5・6年	117	9/13	縄文土器作り	是川小学校3学年	30
5/16	滑石の勾玉作り	体験学習	6	9/14	土製耳飾り作り	是川小学校1学年	25
5/26	縄文土器作り	階上町立赤保内小学校6年	41	9/22	縄文土器作り	根城小学校6学年	81
5/30	縄文土器作り	城下小学校6年	42	10/2	縄文土器作り	島守小学校6学年	30
6/2	合掌土偶作り	市民学校は川遺跡講座(於:下長公民館)	10	10/7	滑石の勾玉作り	わくわくフェスタ2017(於:八食センター)	62
〃	縄文土器作り	五戸町立倉石小学校6年	21	〃	縄文の布を編む	わくわくフェスタ2017(於:八食センター)	3
6/5	縄文土器作り	南部町立剣吉小学校6年	24	10/8	滑石の勾玉作り	わくわくフェスタ2017(於:八食センター)	72
6/6	火起こし・滑石の勾玉作り	南部町立杉沢小学校5・6年	12	〃	縄文の布を編む	わくわくフェスタ2017(於:八食センター)	4
6/7	火起こし	青森県立八戸第一養護学校6年	2	10/9	滑石の勾玉作り	わくわくフェスタ2017(於:八食センター)	91
6/8	滑石の勾玉作り	おいらせ町立百石小学校6年	55	〃	縄文の布を編む	わくわくフェスタ2017(於:八食センター)	2
6/9	縄文土器作り	吹上小学校6年	81	10/12	縄文土器作り	青森県老人クラブ連合会	39
6/20	縄文土器拓本作り	階上町立階上小学4年	3	10/18	滑石の勾玉作り	三条小学校6学年	44
〃	縄文土器作り	階上町立階上小学5・6年	6	10/19	縄文土器作り	青森県立八戸第二養護学校小学部	11
6/22	滑石の勾玉作り	小中野小学校6年	5	10/22	縄文土器拓本作り・火起こし	サポートセンター虹	12
〃	縄文土器作り	田子町立上郷小学校3・4・5・6年	17	10/27	縄文土器作り	湊小学校6学年	31
6/28	滑石の勾玉作り	類家南保育園	26	11/2	滑石の勾玉作り	長者小学校6学年	63
6/29	縄文土器作り	階上町立道仏小学校6年	16	11/5	滑石の勾玉作り	株式会社青森テレビ取材・撮影	2
7/2	勾玉ペンダント作り	あおもりJOMONフェスタ(於:イオンモール下田)	104	11/7	滑石の勾玉作り	多賀台小学校6学年	25
7/3	縄文土器作り	青森県立八戸第二養護学校小学部6年	5	11/10	滑石の勾玉作り	長者中学校1学年	9
7/7	合掌土偶作り	八戸市総合教育センター初任者研修	32	11/14	滑石の勾玉作り	柏崎小学校6学年	97
7/12	縄文土器作り	南部町立名川南小学校5・6年	14	〃	滑石の勾玉作り	青森県立八戸聾学校6学年	2
7/13	滑石の勾玉作り	階上町立石鉢小学校6年	39	11/16	板状土偶作り	是川小学校2学年(於:是川小学校)	9
7/16	滑石の勾玉作り	石手洗子ども会	6	12/2	縄文土器作り	放送大学八戸サテライトスペース	27
〃	火起こし	石手洗子ども会	8	12/14	滑石の勾玉作り	南郷小学校6学年	20
7/20	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校6年	34	12/15	滑石の勾玉作り	南部町立福地小学校6学年	13
7/27	火起こし	浜市川なかよしクラブ	33	12/21	滑石の勾玉作り	株式会社エーシープロモート	2
7/28	縄文土器作り	宮交観光サービス株式会社	33	1/20	滑石の勾玉作り	白山台みどりのかぜ児童クラブ・西白山台みどりのもり児童クラブ	25
7/31	火起こし・縄文の布を編む	体験学習	3	1/26	滑石の勾玉作り	町畑小学校特別支援学級	8
8/8	滑石の勾玉作り	体験学習	2	〃	火起こし	〃	6
8/10	琥珀勾玉作り	体験学習	1	2/3	滑石の勾玉作り	きくよし学童保育	16
8/18	縄文土器作り	階上町教育委員会(於:ハートフルプラザ・はしかみ)	16	2/11	滑石の勾玉作り	はちのへLocal旅	2
8/19	縄文土器作り	八戸市博物館(実習生)	10	2/17	火起こし	かがり火えんぶり開成式(於:市長前広場)	3
〃	板状土偶作り	八戸市博物館(実習生)	5	3/9	滑石の勾玉作り	久慈市統計調査員協議会	14
〃	縄文土器作り	八戸市博物館(実習生)	4	3/13	土製耳飾り作り	米軍三沢基地内ソラーズ小学校1学年	33
〃	土製ペンダント(大)	八戸市博物館(実習生)	2	3/14	滑石の勾玉作り	はちのへLocal旅	2
〃	土製ペンダント(小)	八戸市博物館(実習生)	4	3/15	土製耳飾り作り	米軍三沢基地内ソラーズ小学校1学年	33
8/24	滑石の勾玉作り	はちのへLocal旅	2	3/17	火起こし	きくよし学童保育	6
8/26	滑石の勾玉作り	体験学習	3	3/20	土製ペンダント作り	米軍三沢基地内ソラーズ小学校1学年	33
8/29	縄文土器作り	明治小学校6年生親子レクレーション(於:明治小学校)	64			合計	2,431



過去7年間の体験学習の利用者推移

※平成23年度は7月からスタート



過去7年間の講演会等の利用者推移

※平成23年度は開館記念講演会等を含む
 ※サポートスタッフ研修会は平成28年度から開催回数減となっている。

4. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成27年度から八戸市教育委員会を中心に開始した連携事業。

「発見！ふるさと体験隊」（はっふる隊）という名称のもと、八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の小学校に年1回、貸切バスを無償で活用してもらえるようにし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を支援する取り組みである。当館においても市内小学校を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で多く活用されるようになった。

平成29年度は、八戸市内10校560人、市外11校274人、計834人の児童の体験学習指導、展示解説に対応した。昨年度と比較すると、市外の小学校の利用数が伸びている。引率者を含めた利用者総数は901人である。これは、利用された圏域内の施設の中では3番目に多い利用であり、全体（5,595人）の16.1%を占める。

月 日	学校名	内 容	人数(人)
4月26日	八戸市立白銀小学校6年生	体験・見学	39
4月27日	八戸市立旭ヶ丘小学校6年生	体験・見学	63
4月28日	おいらせ町立甲洋小学校6年生	体験・見学	26
5月26日	階上町立赤保内小学校6年生	体験・見学	42
5月30日	八戸市立城下小学校6年生	体験・見学	41
6月6日	南部町立杉沢小学校5～6年生	体験・見学	12
6月8日	おいらせ町立白石小学校6年生	体験・見学	55
6月9日	八戸市立吹上小学校6年生	体験・見学	84
6月20日	階上町立階上小学校1～6年生	体験・見学	13
6月22日	田子町立上郷小学校3～6年生	体験	17
6月29日	階上町立道仏小学校6年生	体験・見学	14
7月11日	八戸市立江陽小学校6年生	見学	32
7月12日	南部町立名川南小学校5～6年生	体験・見学	14
7月13日	階上町立石鉢小学校6年生	体験・見学	39
7月20日	田子町立田子小学校6年生	体験・見学	32
9月22日	八戸市立根城小学校6年生	体験・見学	80
10月18日	八戸市立三条小学校6年生	体験・見学	42
11月2日	八戸市立長者小学校6年生	体験・見学	62
11月7日	八戸市立多賀台小学校6年生	体験・見学	23
11月14日	八戸市立柏崎小学校6年生	体験・見学	93
12月15日	南部町立福地小学校6年生	体験・見学	11
計 21校 834人			

5. 地域連携

○是川縄文隊との連携

是川縄文隊は、是川地域の宝である是川遺跡の保存・活用に寄与するとともに、是川縄文館を核とした是川縄文の里の地域振興を図ることを目的に、是川地区の中居町内会の有志により平成24年度に設立された。活動等についてはVII-4是川縄文隊に記載している。

これまで、是川縄文館のPRのほか、地域振興の一環として、来館者へ周辺ガイドマップの配布、是川産直野菜を販売するなど地域のPR活動を行っており、是川遺跡の情報発信や、来館される方々へのおもてなしの充実が図られている。

○さわやか八戸グッジョブウィークとの連携

八戸市教育委員会を中心とした市内公立中学校の2年生を対象に実施している職場体験事業。是川縄文館では、中学生からの要望があった際にできる限り応じ、学芸員としての業務の体験を実施している。

平成29年度は2校4名の中学生の要望を受け入れ、学芸業務の基本となる出土品整理や出土品・図書データベースの構築支援の体験を実施した。

○放送大学との連携

放送大学が教育課程に基づき、学習センター・サテライトスペースが所在する地域の大学等の機関と連携し、実地での面接授業を行う事業。

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペースとの連携により、是川遺跡及び是川縄文館を活用した2日間計8回にわたる面接授業を開講した。講義には是川遺跡に関心をもつ受講生27人が全国から集まり、好評であった。



放送大学面接授業

内容 科目名「是川遺跡から学ぶ考古学」（全8回）

- 第1回「考古学の研究方法とその広がり」・第2回「是川遺跡の調査・研究」・第3回「縄文の漆工芸」・
- 第4回「縄文土器作り実習」・第5回「出土品見学①」・第6回「出土品見学②」・
- 第7回「日本列島に広がる亀ヶ岡文化」・第8回「是川遺跡と「北海道・北東北の縄文遺跡群」

日時 12月2日(土)・3日(日)

会場 是川縄文館 2F 企画展示室

講師 小久保 拓也・市川 健夫 (当館学芸員)

○高校との連携

・特別展高校生スタッフ

特別展の展示解説スタッフとして高校生に参加してもらう取り組み。八戸市内における学校教育との連携強化とともに、高校生に埋蔵文化財や考古学、学芸員という職業を周知し、将来の大学進学や就職等の選択肢にしてもらう目的で実施した。

募集は公募とせず、積極的なボランティア活動を推奨している八戸工業大学第二高等学校に協力を依頼し、承諾を得て実施した。

スタッフ活動にあたり、募集説明会(1回)を行い、スタッフ登録した高校生を対象に活動説明会、展示解説研修会を開催した。説明会(4回)と研修会(11回)は複数回の日程を用意し、スタッフに必ず受講してもらうように配慮した。研修を終えたスタッフから活動を開始した。なお、各スタッフの参加日時・役割分担等の管理は当館で行った。

参加した高校生スタッフからは、教科書でしか知らなかったことが、遺跡出土品とともに目の当たりにできて、それを解説することはとても刺激的だったとの声があった。また、来館者からは、高校生らしい例えも入れてわかりやすく解説してくれたと好評であった。特別展最終日には活動終了式を行い、学校及び高校生スタッフに感謝状を贈呈した。

【特別展高校生スタッフ参加者】 八戸工業大学第二高等学校 77名(活動日数26日間 活動人数延べ189人)

1学年 27名(男子5名 女子22名)

2学年 36名(男子9名 女子27名)

3学年 14名(男子5名 女子9名)

・ファッション甲子園2017作品制作協力

千葉学園高等学校生徒による縄文をデザインしたファッション制作。学芸員が縄文時代のファッションや文化について助言協力を行った。作品「未来へ生きる縄文文化」は、全国126校3009点の応募の中から選ばれた35チームが参加した「第17回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会最終審査会」において、3位入賞を果たした。

是川縄文館では受賞を記念し、10月～11月に期間限定公開をした。



特別展高校生スタッフ展示解説研修会



ファッション甲子園受賞作品

○大学との連携

・幼児ワークショップ

八戸学院大学短期大学部による幼児ワークショップへの開催協力。これかわ縄文まつりにおいて、くみを使ったボタン状の缶バッチ制作や、木の実や葉を型取りした化石状モチーフを作る体験を行った。

・縄文プロジェクト

八戸工業大学感性デザイン学部による縄文土器のスタンプアート制作体験。これかわ縄文まつりにおいて、消しゴムスタンプで土器の型紙に文様をつける体験のほか、オリジナルグッズを販売した。制作にあたり、学芸員が縄文土器や土器文様について助言協力をした。オリジナルグッズは館内で販売中。

○小学校との連携

・こども縄文シンポジウム

第20回だて噴火湾縄文まつり(北海道伊達市教育委員会主催)で、世界遺産登録を目指す北海道・青森県・岩手県・秋田県の小・中学生が、自分の町の遺跡や、縄文文化に関することを発表したシンポジウム。青森県代表の八戸市立吹上小学校3年生の発表「合しよう土ぐうはご近所さん」の支援を行った。



こども縄文シンポジウム

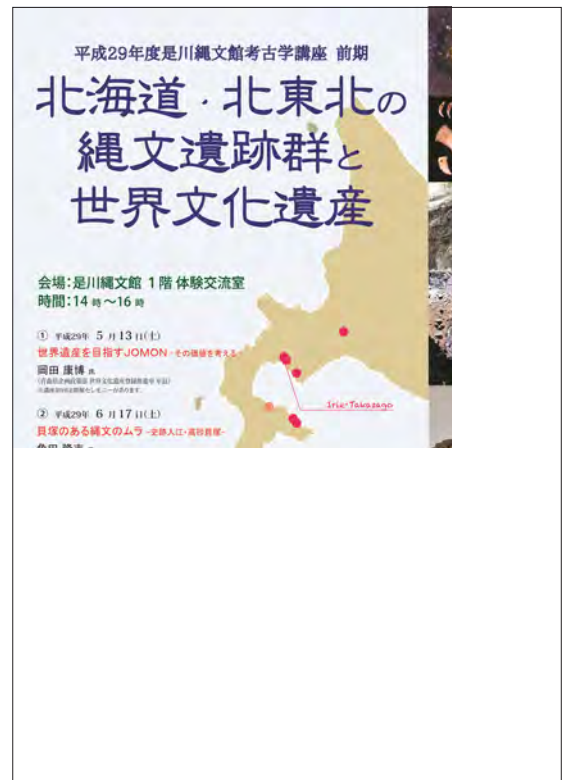
6. 世界遺産登録に向けた取り組み

○世界遺産登録へ向けた活動

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指している。当市の構成資産は、史跡是川石器時代遺跡である。

直近の機会での推薦・登録を目指し、縄文遺跡群世界遺産登録推進会議・担当者会議・推薦書案作成プロジェクトチーム等での推薦書案に関する検討・協議をはじめ、構成資産の包括的保存管理体制の検討を行っている。

世界遺産登録実現には、市民の理解が不可欠であるため、縄文遺跡群の内容を紹介したパネル展開催や、縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム・あおもりJOMON フェスタへの協力、ロゴマークの積極的な活用等を行い、PRに努めている。平成29年度は、加えて世界遺産登録推進の取り組みを紹介する考古学講座を3回開催し、登録実現に向けた気運の醸成を図った(→p12)。



考古学講座チラシ

○縄文遺跡群パネル展

開催期間 ①5月13日(土)～8月19日(土) ②8月20日(日)～10月5日(木)

③10月7日(土)～10月9日(月) ④12月1日(土)～平成30年3月31日(土)

開催場所 ①・④是川縄文館 ②是川縄文館分館(縄文学習館) ③八食わくわくフェスタ(八食センター)

概要 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の概要説明、構成資産位置図、各構成資産の概要についてのA1版パネルを掲示した。③は体験学習とともに、縄文文化の普及活動として取り組んだ。



考古学講座(第1回)



あおもり JOMON フェスタでの出土品展示

7. 調査研究

(1) 共同研究

【第2期共同研究】

是川縄文館では、大学等の研究機関との共同研究を事業の1つとして掲げている。共通のテーマを連携して多角的に追究し、学術的に質の高い情報を企画展や講座等の場へ活用することを目的としたものである。

平成23年度(2011)から2期にわたり東京大学大学院環境史研究室と共同研究を推進した。

第1期は縄文時代前半期の環境変動と集落生態系の復原をテーマとした。続く第2期共同研究では、

とくに植物資源の利用に重点を置きつつ、縄文時代後半期における環境変動と集落生態系の復原を目指し、総じて八戸地域の過去1万年間の環境変動と集落生態系について検討した。

平成29年度は共同研究の成果の公開活用を推進した。第1期・第2期の6年間の成果をまとめた企画展「是川縄文ムラを観る・描く - 人と風と草木のものがたり -」を開催するとともに、総括論文を研究紀要第7号に掲載した。



企画展ギャラリートーク

- 共同研究テーマ 『八戸地域における縄文時代中期から晩期の環境変動と集落生態系の復原』
- 研究期間 2017年4月～2018年3月
- 研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 環境史研究室 (辻 誠一郎 教授)
古代の森研究舎 (吉川 昌伸 氏・吉川 純子 氏)
株式会社 パレオ・ラボ (鈴木 茂 氏)
国立慶州文化財研究所 (安 昭炫 氏)
上高津貝塚ふるさと歴史の広場 (一木 絵理 氏)
考古復元イメージイラストレーター・アーティスト (安芸 早穂子 氏)
東京大学空間情報科学研究センター (早川 裕式 准教授)
国立科学博物館 (植田 弥生 氏)

○研究活動等

- ① 2017年4月15日～4月16日 共同研究会 (於: 是川縄文館、共同研究及び成果展示打合せ)
- ② 2017年6月27日 野外調査 (青森県つがる市神田遺跡・十和田湖周辺露頭巡検・サンプル採取)
- ③ 2017年8月24日～8月26日 打合せ (於: 是川縄文館、秋季企画展図録読み合せ及び成果展示打合せ)
- ④ 2017年9月9日 野外調査 (青森県田子町周辺露頭巡検・サンプル採取)
- ⑤ 2017年10月10日～10月13日 秋季企画展設営作業
- ⑥ 2017年10月14日 秋季企画展「是川縄文ムラを観る・描く - 人と風と草木のものがたり -」開催
(～2017年11月26日まで)
- ⑦ 2017年12月4日 打合せ (於: 是川縄文館、総括論文打合せ)

○関連活動

- ・秋季企画展図録「是川縄文ムラを観る・描く」(10月14日)
- ・企画展ギャラリートーク (辻誠一郎・西村広経・市川健夫、会期中毎週土曜日)
- ・デーリー東北新聞記事「是川縄文ムラを観る・描く①・②・③」
(辻誠一郎・市川健夫・西村広経、11月1日・11月8日・11月15日)
- ・企画展考古学講座「是川縄文ムラを観る・描く」開催 (辻誠一郎、11月14日)
- ・八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要 第7号 「八戸地域における縄文時代の環境変動と景観復原」
(辻 誠一郎・安芸早穂子・早川 裕式・吉川 昌伸・吉川 純子・鈴木 茂・植田 弥生・安 昭炫・一木 絵理・市川 健夫・西村 広経)

(2) 学芸員の研究等業績：平成29年4月～平成30年3月

【論文等】

平成29年10月

辻誠一郎・西村広経 『平成29年度秋季企画展図録 是川縄文ムラを観る・描く - 人と風と草木のものがたり -』 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

平成29年11月

横山寛剛 「一王寺(1)遺跡」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 平成29年度遺跡査報告会』

宇部則保 「熊野堂遺跡」同上

苧坪祐樹 「新井田古館遺跡」同上

村木 淳 「雷遺跡」 同上

市川健夫 「博物館紹介 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館」『郷土館のモノ語り』5

平成29年12月

苧坪祐樹 「熊野堂遺跡」『平成29年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』青森県埋蔵文化財調査センター

平成30年3月

宇部則保 「古代エミシンの集落と末期古墳」『青森県史 通史編I 原始・古代・中世』青森県史編さん部会

小口雅史・宇部則保・工藤清泰・武井紀子・伊藤由美子 「九世紀後半～一一世紀のあおもりのいとなみ」 同上

小口雅史・宇部則保・工藤清泰 「一〇～一一世紀のあおもり」 同上

小久保拓也 「土偶(青森県八戸市風張1遺跡出土)」『國華』1469 國華編輯委員会

辻 誠一郎・安芸早穂子・早川 裕弐・吉川 昌伸・吉川 純子・鈴木 茂・植田 弥生・安 昭炫・一木 絵理・市川 健夫・西村 広経 「八戸地域における縄文時代の環境変動と景観復原」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』7 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

西村広経 「東北地方における横帯文の系譜」 同上

西村広経 「十腰内2式土器の再検討」『東京大学考古学研究室研究紀要』32 東京大学考古学研究室

【学会発表等】

平成29年5月

市川健夫 「風張遺跡と国宝の土偶について」『下長公民館是川遺跡講座』

平成29年6月

西村広経 「東北北部における縄文時代後期中葉土器編年の再検討」『青森県考古学会2017年度総会・研究発表会』

平成29年7月

宇部則保 「八戸地方の古墳時代の遺跡」『古墳分布北縁地域における地域間交流解明のための実証的研究』研究集会』

平成29年10月

宇部則保 「末期古墳とエミシ社会」『全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第30回研修会』

平成29年11月

横山寛剛 「一王寺(1)遺跡」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 平成29年度遺跡査報告会』

宇部則保 「熊野堂遺跡」 同上

苧坪祐樹 「新井田古館遺跡」 同上

村木 淳 「雷遺跡」 同上

小久保拓也 「土からみる縄文」『はっち市2017 -ちっちゃな街のまなび舎-』

平成29年12月

市川健夫 「考古学研究法とその広がり」・「縄文土器作り実習」・「日本列島に広がる亀ヶ岡文化」『平成29年第2学期放送大学面接授業 是川遺跡から学ぶ考古学』

小久保拓也 「是川遺跡の調査・研究」・「縄文の漆工芸」・「是川遺跡と「北海道・北東北の縄文遺跡群」」 同上

市川健夫・小久保拓也 「出土品見学」 同上

苧坪祐樹 「熊野堂遺跡」『平成29年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』

平成30年3月

宇部則保 「末期古墳の社会」『根城史跡ボランティアガイド自主研修』

宇部則保 「古代都母の地域様相」『第80回蝦夷研究会研究発表』

市川健夫 「世界遺産登録推進と是川石器時代遺跡」『北奥羽開発促進協議会二戸支部管外視察研修』

【教育】

平成29年10月～平成30年3月

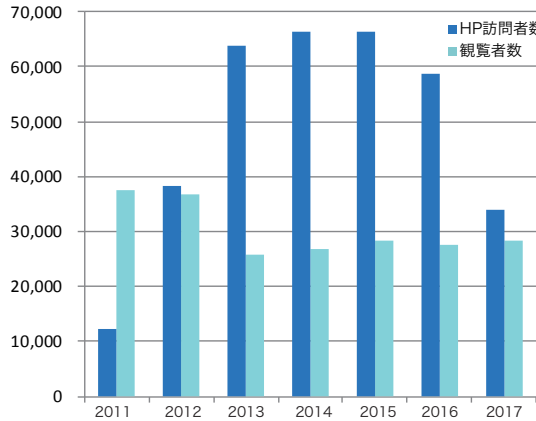
小久保拓也・市川健夫 放送大学 非常勤講師(面接授業担当)

8. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

①ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMSを使用し、管理を外部委託している。平成28年度にスマートフォン等に対応するリニューアルを行っている。ホームページ訪問者数は前年より減少し、1日あたりの平均訪問者数は93人（平成29年4月～平成30年3月まで）であった。

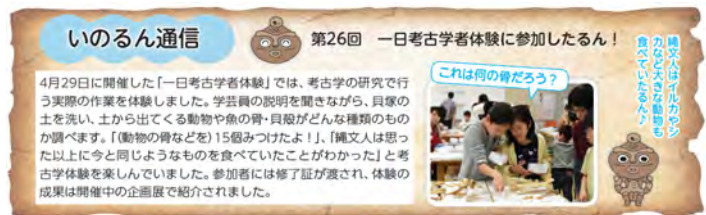


月	HP 訪問数	観覧者数	更新回数	平均 (日)	英語版 HP
4	2,201	1,600	3	587.2	226
5	2,733	2,938	4	584.4	116
6	2,503	2,050	5	583.1	98
7	3,284	2,519	4	625.6	98
8	4,417	6,276	3	652.8	74
9	4,274	3,700	8	745.6	207
10	3,101	2,153	5	487.9	65
11	2,371	2,243	5	390.1	31
12	2,096	826	4	354.8	45
1	2,372	834	3	477.3	77
2	2,148	996	0	331.2	87
3	2,533	2,271	3	443.7	103
計	34,033	28,406	47	6,263.7	1,227

ホームページ訪問者数と更新回数

②広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の体験学習や発掘調査等の活動について、参加者にインタビューし、内容を紹介します。市広報誌「広報はちのへ」において隔月掲載（5・7・9・11・1・3月号）。97,800部発行



いのるん通信（第26回）

③広告掲載

特別展及び秋季企画展開催を周知するため、地元新聞等に広告を掲載した。

・特別展開催案内広告「発掘された日本列島2017」

デーリー東北新聞社（7/14,21,31,8/1,5,7,9/8ほか会期中不定期4回）朝刊、生活情報誌 chouchou（8/8発行）東奥日報社（7/14,31朝刊）、岩手日報社・秋田魁新報社（7/14朝刊）、情報羅針盤コンパス（7/6発行）

・企画展開催案内広告「是川縄文ムラを観る・描く」

デーリー東北新聞社（10/4,13,朝刊）、東奥日報社・岩手日報社・秋田魁新報社（9/29朝刊）、情報羅針盤コンパス（9/7発行）

④新聞記事

企画展・特別展をテーマとした連載記事を職員等が作成し、開催期間に合わせてデーリー東北新聞社に掲載した。

・春季企画展

5/16, 6/6, 6/13の3回

・特別展

8/11,12,13,14,15(文化庁),16(当館学芸員)の6回

・秋季企画展

11/1(東京大学),8,15(当館学芸員)の3回



企画展連載記事（デーリー東北新聞）

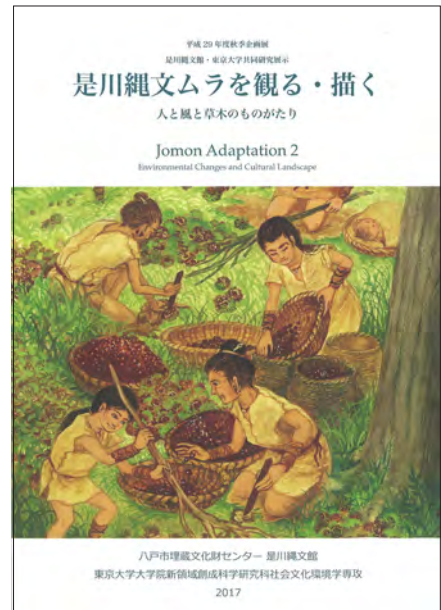
⑤ B e F M 「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した（2ヶ月に1度）。

⑥ 図録等刊行

研究紀要のほか、企画展示について下記の図録を刊行した。図録については館内ミュージアムショップで頒布している。

- ・「掘り day はちのへ - 八戸市埋蔵文化財ニュース -」20号
A4版カラー 8ページ
- ・企画展図録「是川縄文ムラを観る・描く - 人と風と草木のものがたり -」
A4版カラー 49ページ
- ・「研究紀要」第7号 A4版モノクロ 36ページ
- ・史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画書
A4版カラー 110ページ



企画展図録
「是川縄文ムラを観る・描く」

9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリ、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。是川が柿の里であることから、昨年度に引き続き冬季限定で干し柿の販売を行った。

【商品一例】ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、当館キャラクター「いのるん」グッズ（文房具、ラグビージャージ着用風貯金箱等）、土偶及び土器等のレプリカ、お菓子（クッキー、人形焼、せんべい等）、当館刊行物、考古学関連書籍等。



ミュージアムショップ

② 喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミ、ナッツ、ドングリを合わせた「縄文ソフトクリーム」等を提供している。また、平成 29 年度は、期間限定で柿を使った「柿ランチ」や「柿パスタ」といった新メニューを提供した。

「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が運営している。



柿ランチ

IV埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、489か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法93条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同94条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の60日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存する等の保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法99条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行う場合がある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会で対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の4か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を確認する確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

(1) 平成29年度の発掘調査

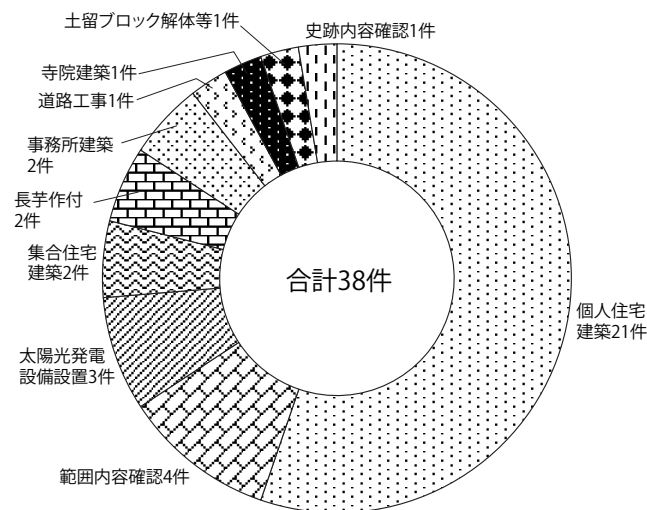
平成29年度は、16か所の遺跡で計38件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査32件、史跡の内容確認調査1件、本発掘調査5件（試掘後の本調査を含む）である。

調査原因の種類別では、個人住宅建築21件、範囲内容確認調査4件、太陽光発電設備設置3件、集合住宅建築2件、長芋作付2

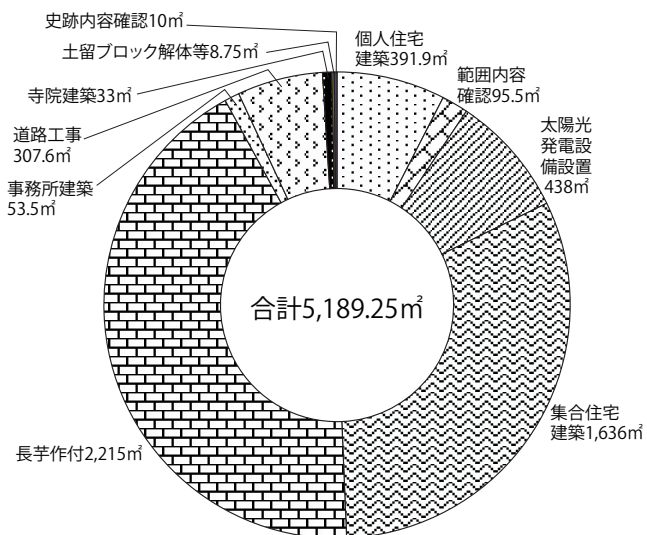
件、事務所建築2件、その他道路（拡幅）工事・寺院建築・土留ブロック解体等・史跡内容確認調査が各1件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴う件数が最も多く、55%と全体の半数に及ぶ。太陽光発電設備設置がそれに次ぎ7%で、個人住宅建築と合わせると全件数の約6割に及ぶ。この傾向は、前年度と同じである。

一方調査面積では長芋作付に伴うものが最も多く、集合住宅建築がこれに次ぐ。両者を合わせると全体の75%に及び、平成29年度の調査成果は長芋作付・集合住宅建築に伴う雷遺跡・新井田古館遺跡の調査に集約されるといえる。



平成29年度調査原因ごとの発掘件数内訳



平成29年度調査原因ごとの調査面積内訳

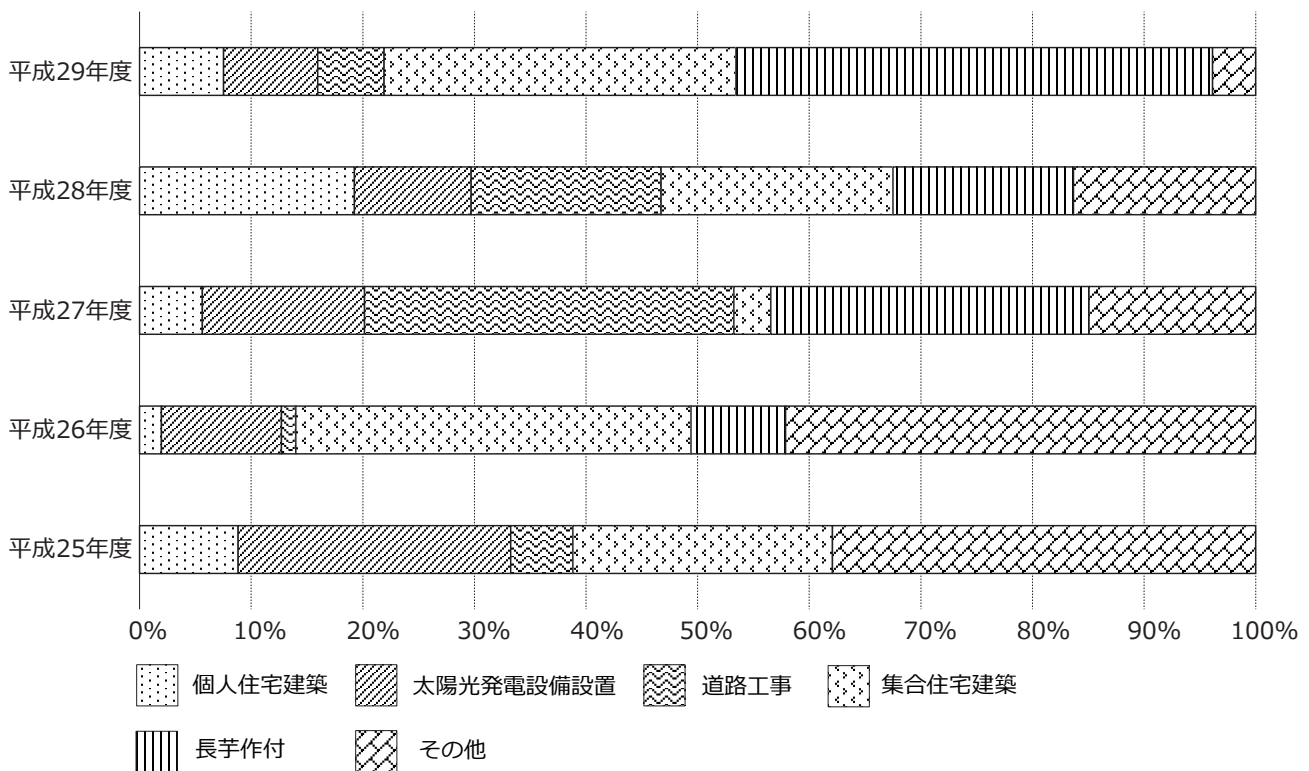
(2) 過年度との比較

平成29年度の届出数・調査面積を過去4年間のものと比較すると、届出件数は最も少なく、調査面積は最も少なかった前年度とほぼ同じである。

特筆すべき点は、雷遺跡における調査件数が、前年度の4件から7件と急激に増加したことである。また、今年度は初めて1,000㎡以上の中規模な発掘調査が行われ(第5地点)、大きな成果があがっている。また、平成30年度に本発掘調査が数件予定されており、雷遺跡の全容が少しずつ明らかになるものと期待される。

調査原因	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)
個人住宅建築	26	1,304.92	15	294.75	21	624.58	27	953.50	21	391.9
太陽光発電設備設置	3	3,604.00	8	1,610.50	9	1,616.45	10	517.64	3	438.00
道路工事	4	822.00	5	192.30	4	3,679.00	4	842.30	1	307.60
宅地分譲・造成、集合住宅建築	4	3,431.50	8	5,308.50	2	366.76	5	1,028.50	2	1,636.00
長芋・ごぼう作付	0	5,599.65	2	1,270.00	2	3,170.00	1	800.00	2	2,215.00
その他	17	14,762.07	10	6,315.20	9	1,660.50	12	808.60	9	200.75
合計	54	29,524.14	48	14,991.25	47	11,117.29	59	4,950.54	38	5,189.25

平成25～29年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成25～29年度の調査原因ごとの調査面積の推移



平成 29 年度八戸市内発掘調査位置図 (S : 12 万分の 1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別/主な時代	
1	八戸城跡第38地点	試掘調査	事務所建築	平成29年4月10日	28	城館跡/近世	
2	舟渡ノ上遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年4月11日	29	散布地/縄文	
3	根城跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年4月13日	6	城館跡/中世	
4	松長根遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年4月13日	6	散布地/縄文	
5	櫛引遺跡第7地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成29年4月18日～21日	150	集落跡・城館跡/縄文・奈良～近世	
6	館平遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年4月24日	26	集落跡・城館跡/縄文・平安・中世	
7	小沢遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年4月27日	29.5	散布地/縄文	
8	櫛引遺跡隣接地	試掘調査	範囲内容確認	平成29年4月28日	30	集落跡・城館跡/縄文・奈良～近世	
9	雷遺跡第5地点	試掘調査	長芋作付	平成29年5月23日～6月16日	615	散布地/縄文・平安	
10	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年5月30日	19.5	散布地/縄文・平安	
11	新井田古館遺跡第31地点	試掘調査	集合住宅建築	平成29年6月22日～6月30日	178	集落跡・城館跡/縄文・奈良～近世	
12	八戸城跡	試掘調査	事務所建替	平成29年6月26日	25.5	城館跡/近世	
13	狐平遺跡隣接地	試掘調査	範囲内容確認	平成29年6月27日～7月5日	13.5	集落跡/縄文・平安	
14	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年7月6日	33	散布地/縄文・平安	
15	田面木遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年7月20日	7	集落跡/縄文・弥生・奈良・平安	
16	田面木遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年7月11日	5	集落跡/縄文・弥生・奈良・平安	
17	館平遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年7月24日	5.8	集落跡・城館跡/縄文・平安・中世	
18	市子林遺跡	試掘調査	既存住宅・土留ブロック解体及び 駐車場造成に伴う試掘調査	平成29年9月21日	8.75	集落跡/縄文・古墳～近世	
19	櫛引遺跡第8地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成29年10月2日～6日	208	集落跡・城館跡/縄文・奈良～近世	
20	松長根遺跡第2地点	試掘調査	範囲内容確認	平成29年9月29日	11	散布地/縄文	
21	松ヶ崎遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年10月6日	6	集落跡/縄文	
22	館平遺跡第29地点	試掘調査	個人住宅建築	平成29年10月13日	14	集落跡・城館跡/縄文・平安・中世	
23	櫛引遺跡第6地点	試掘調査	寺院建築	平成29年10月16日	33	集落跡・城館跡/縄文・奈良～近世	
24	八戸城跡第39地点	試掘調査	個人住宅建築	平成29年10月18日	10	城館跡/近世	
25	石橋遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成29年11月1日	80	集落跡/平安	
26	市子林遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年11月8日	12	集落跡/縄文・古墳～近世	
27	八戸城跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年11月14日	4	城館跡/近世	
28	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成29年12月19日	17	散布地/縄文・平安	
29	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成30年3月8日	18	散布地/縄文・平安	
30	雷遺跡第6地点	試掘調査	個人住宅建築	平成30年3月13日	22.5	散布地/縄文・平安	
31	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成30年3月14日	30	散布地/縄文・平安	
32	田面木遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成30年3月23日	9.6	集落跡/縄文・弥生・奈良・平安	
33	雷遺跡第5地点	本調査	長芋作付	平成29年7月11日～9月12日	1,600	散布地/縄文・平安	
34	市子林遺跡第22地点	本調査	個人住宅建築	平成29年6月23日～29日	82	集落跡/縄文・古墳～近世	
35	松長根遺跡第2地点	本調査	範囲内容確認	平成29年10月2日～12日	41	散布地/縄文	
36	一王寺遺跡	内容確認	史跡内容確認	平成29年10月23日～10月30日	10	集落跡/縄文	
受託事業	37	熊野堂遺跡第6地点	本調査	道路工事	平成29年4月18日～5月31日	307	集落跡/縄文・奈良・平安
	38	新井田古館遺跡第31地点	本調査	集合住宅建築	平成29年8月21日～11月17日	1,458	集落跡・城館跡/縄文・奈良～近世

市内遺跡発掘調査事業

受託事業

IV
埋蔵文化財調査等

平成29年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

2. 調査概要

(1) 主な試掘調査

①舟渡ノ上遺跡 (p27-No.2)

調査地：八戸市大字鮫町字館越 10-4

担当職員：村木 淳

検出遺構：なし

出土遺物：縄文土器、石器

調査概要：個人住宅建築に伴い試掘調査を行ったところ、表土から縄文時代前期初頭の土器及び石器が出土した。今回の調査では遺構は検出されなかったが、今後の調査で当該時期の遺構が見つかることが期待される。



縄文時代前期初頭の深鉢（左）と打製石器（右）

②八戸城跡第 38 地点 (p27-No.1)

調査地：八戸市内丸三丁目 1 番 12

担当職員：村木 淳

検出遺構：土坑 5 基、ピット

出土遺物：陶磁器

調査概要：事務所建築に伴う試掘調査において、時期不明の土坑 5 基と多数のピットを検出した。

工事による掘削が遺構検出面に達しないことを確認したため、遺跡保護の観点から遺構は検出にとどめ、調査を終了した。



土坑及びピット群検出状況

③八戸城跡第 39 地点 (p27-No.24)

調査地：八戸市内丸三丁目 1 番 4

担当職員：村木 淳

検出遺構：溝状土坑 1 基、溝跡 1 条、ピット

出土遺物：陶磁器

調査概要：個人住宅建築に伴う試掘調査において、縄文時代の溝状土坑 1 基と時期不明の溝跡、多数のピットを検出した。

工事による掘削が遺構検出面に達しないことを確認したため、遺跡保護の観点から遺構は検出にとどめ、調査を終了した。



溝跡及びピット群検出状況

④櫛引遺跡第7地点 (p27-No.5)

調査地：八戸市大字櫛引字吹張平 1-2 地内

担当職員：村木 淳

検出遺構：竪穴建物跡、円形周溝、溝状土坑

出土遺物：土師器、石器

調査概要：太陽光発電設備設置に伴い試掘調査を行ったところ、縄文時代の溝状土坑、古代の竪穴建物跡、円形周溝を検出した。

本地点は遺跡の南端に位置する。当該地の調査履歴はほとんどなかったが、古代の集落跡が本地点及びその周辺に広がることを確認することができた。

工事による掘削が遺構検出面に達しないことを確認したため、遺跡保護の観点から遺構は検出にとどめ、調査を終了した。



古代の竪穴建物跡検出状況

⑤櫛引遺跡第8地点 (p27-No.19)

調査地：八戸市大字櫛引字吹張平 1-2 地内

担当職員：村木 淳

検出遺構：竪穴建物跡、土坑、性格不明遺構

出土遺物：土師器

調査概要：太陽光発電設備設置に伴い試掘調査を行ったところ、古代の竪穴建物跡、時期不明の土坑、時期・性格不明の遺構を検出した。

本地点は遺跡の南端に位置し、第7地点の西側に隣接する。このため、第7・8地点の古代の竪穴建物跡は、一連の集落跡とみられる。

工事による掘削が遺構検出面に達しないことを確認したため、遺跡保護の観点から遺構は検出にとどめ、調査を終了した。



古代の竪穴建物跡検出状況

⑥雷遺跡第6地点 (p27-No.30)

調査地：八戸市大字中居林字雷 20 番 8

担当職員：村木 淳

検出遺構：竪穴建物跡 1 棟、円形周溝 1 基

出土遺物：土師器、土製品、鉄製品

調査概要：個人住宅建築に伴い試掘調査を行ったところ、奈良時代の竪穴建物跡 1 棟と円形周溝 1 基を検出したため、次年度に本発掘調査を実施することとなった。

本遺跡では近年多数の発掘調査が行われており、今後の調査成果が注目される。



古代の竪穴建物跡検出状況

(2) 本発掘調査

①熊野堂遺跡第6地点 (p27-No.37)

調査地：八戸市大字売市字新坂平地内

担当職員：苧坪 祐樹・宇部 則保

検出遺構：竪穴建物跡 14 棟、炉跡 5 基、土坑 39 基、溝跡 4 条、溝状土坑 3 基

出土遺物：土師器、須恵器、緑釉陶器、土製品、石器、石製品、鉄製品、鉄滓類、動物遺存体、炭化種子
調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市長根及び売市地区に所在し、馬淵川右岸の標高 16 m の河岸段丘端部に位置する。これまでの調査により、古代の集落跡であることがわかっており、特に平安時代には何度も作り替えられた多数の竪穴建物跡や集落を区画する大きな溝がみつまっている。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡の北東端部に位置する。現状は公衆用道路である。平成 28 年 12 月 19 日、八戸市（区画整理課）から文化財保護法第 94 条第 1 項の規定に基づき、道路拡幅工事に伴う通知書が八戸市教育委員会に提出された。これを受け、同年 12 月 21 日に試掘調査を行った結果、遺構が多数検出された。試掘調査の結果を受け、八戸市（区画整理課）と協議を行い、道路拡幅工事に先立ち、平成 29 年度に本発掘調査を行うこととなった。

調査期間は、平成 29 年 4 月 18 日から 5 月 31 日まで、調査面積は 307.6㎡である。

ウ．検出遺構

竪穴建物跡 14 棟、炉跡 5 基、土坑 39 基、溝跡 4 条、溝状土坑 3 基を検出した。溝状土坑を除き、平安時代のものである。



平安時代の緑釉陶器（底部）

エ．出土遺物

遺物は、土師器、須恵器、緑釉陶器、土製品、石器、石製品、鉄製品、鉄滓類、動物遺存体（ブタ指骨）、炭化種子（イネ）が出土している。

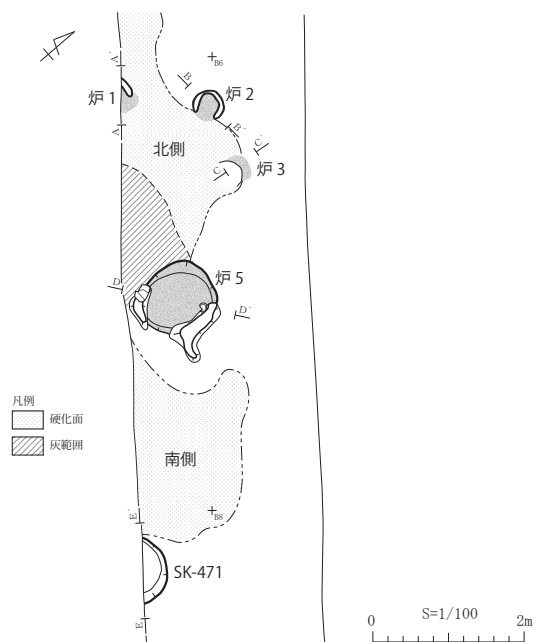
緑釉陶器は、近江系の 10 世紀後半頃のものとみられ、体部破断面が意図的に研磨されている。

オ．調査成果

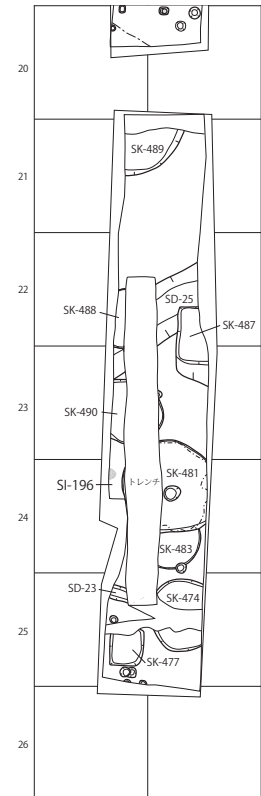
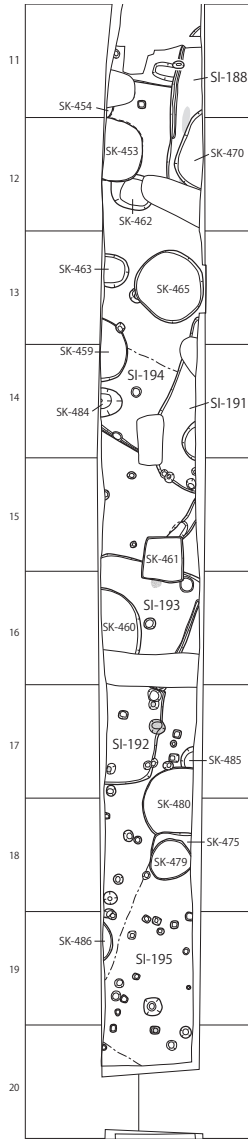
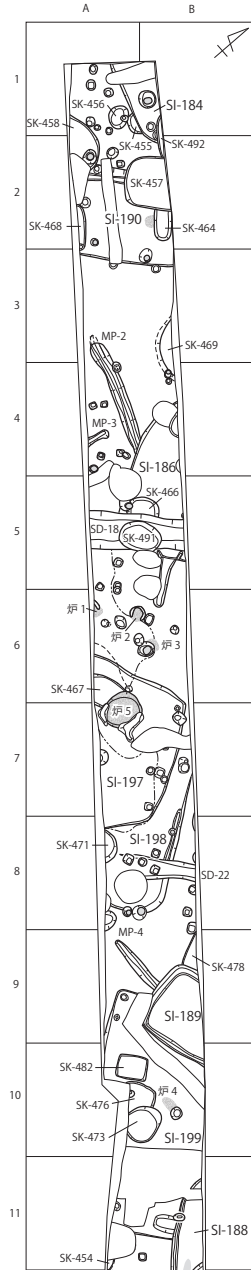
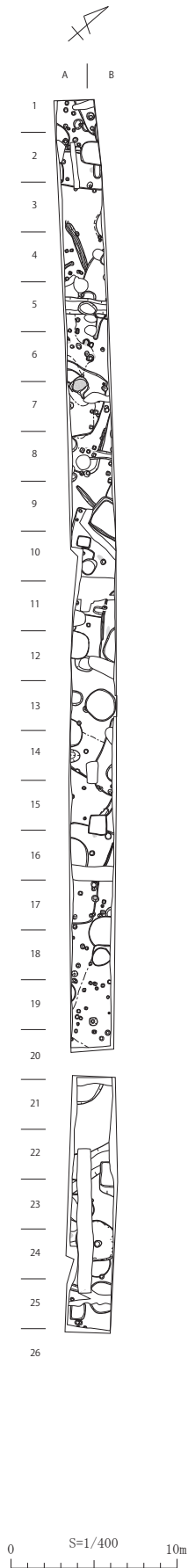
調査対象地は河岸段丘の縁部にあたり、本遺跡の北東端部に位置するが、その遺構密度はこれまでに本発掘調査を行った熊野堂遺跡第 1・2・3・5 地点と同様に高い。河岸段丘の縁部まで遺構密度の高い平安時代の集落跡が広がることを今回の調査で確認した。

さらに、大きな成果として平安時代の集落内で鍛冶を行う空間が複数点在していることが確認されたこと、八戸市内で初めて緑釉陶器が出土したことがあげられる。

また、出土イネの分析については、当地域の平安時代の農耕や食生活を検討する上で確かな資料の蓄積となった。



平安時代の鍛冶関連遺構



熊野堂遺跡第6地点 遺構配置図

②新井田古館遺跡第31地点 (p27-No.38)

調査地：八戸市大字新井田字古館1番2地内

担当職員：苧坪 祐樹・小笠原 善範

検出遺構：竪穴建物跡17棟、掘立柱建物跡17棟以上、井戸跡3基、土坑30基、溝跡8条等

出土遺物：縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器、土製品、石器、石製品、鉄製品、青銅製品、銭貨等

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市新井田地区に所在し、標高4～10mの新井田川右岸に位置する。これまでの調査により、縄文時代・弥生時代・古代・中世・近世と多くの時期の遺構・遺物がみつかるとなる複合遺跡であることがわかっている。さらに、調査対象地が含まれる遺跡の北半分は、古くは「旧新田館」や「古館」と呼称され、根城南部氏の有力家臣新田氏に関連する遺跡とみられてきた。これまでの発掘調査により、周囲に土塁と堀を巡らした単郭の中世城館であることが明らかになってきている。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡の中央から北寄りに位置し、現状は畑地である。集合住宅建築に伴い、平成29年6月13日付で文化財保護法第93条第1項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これを受け、同年6月22日～30日に試掘調査を行った。試掘調査の結果、多数の遺構・遺物を確認し土坑やピット等の遺構や土師器・陶磁器の遺物が検出されたため、地権者と協議し、集合住宅建築工事に先立ち、本発掘調査を実施することで合意した。

調査期間は、平成29年8月21日から11月17日まで、調査面積は1,458㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 土坑3基

【古代】 竪穴建物跡2棟

【中近世】 竪穴建物跡15棟、掘立柱建物跡17棟以上、井戸跡3基、土坑27基、溝跡8条

エ．出土遺物

【縄文時代】 縄文土器、石器、石製品

【古代】 土師器、須恵器

【中近世】 陶磁器、土製品、石製品、鉄製品、銅製品、銭貨、鉄滓類、銅滓類、動物遺存体(獣骨、鳥骨、魚骨、貝)、植物遺存体(穀類か)

オ．調査成果

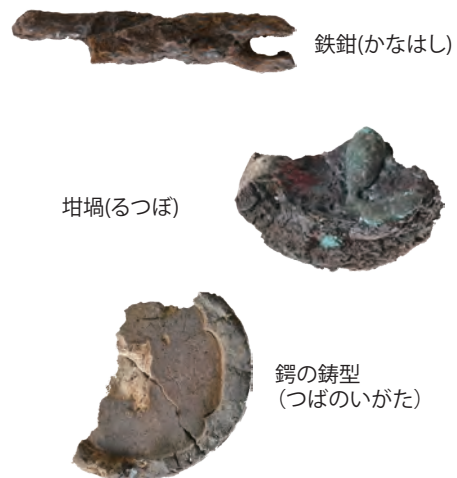
調査対象地は、周囲に土塁と堀を巡らした単郭の中世城館の南東端側に位置する。調査の結果、周辺の調査地点に比べて中近世に属する竪穴建物跡が多数検出された。このような遺構の分布傾向は、郭内空間利用について検討する有効な資料になるとみられる。



国産陶器(瀬戸産)

輸入磁器(中国産)

中世の陶磁器



鉄鉗(かなはし)

坩堝(るつぼ)

鏑の鑄型
(つばのいがた)

中近世の鑄物関連遺物



■ 中近世の竪穴建物跡

0 S=1/250 10m

新井田古館遺跡第31地点 遺構配置図

③雷遺跡第5地点 (p27-No.33)

調査地：八戸市大字田向字檀ノ平 27 番、28 番 2

担当職員：村木淳

検出遺構：竪穴建物跡 4 棟、井戸跡 5 基、土坑 1 基、土坑墓 5 基、溝状土坑 15 基、溝跡 1 条、柱穴等

出土遺物：土師器、陶磁器、土製品、鉄製品、青銅製品、銭貨等

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市田向地区に所在し、新井田川左岸の標高 15～30m の段丘上に位置する。これまでの調査では、縄文時代と古代の遺構・遺物がみついている。加えて今回調査対象地では近世の遺構・遺物がみつかり、多くの時期に利用された複合遺跡であることがわかってきている。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡の北東側に位置し、現状は畑地である。長芋作付けに伴い、平成 29 年 5 月 17 日付けで文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これを受け、同年 5 月 23 日～6 月 16 日に試掘調査を行った。試掘調査の結果、古代及び中世の遺構・遺物を確認したため、地権者と協議し、長芋作付けに先立ち、本発掘調査を実施することで合意した。

調査期間は、平成 29 年 7 月 11 日から 9 月 12 日まで、調査面積は 1,600 m²である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】土坑 1 基、溝状土坑 15 基

【古 代】竪穴建物跡 3 棟、溝跡 1 条

【近 世】竪穴建物跡 1 棟、土坑墓 3 基、井戸跡 3 基、柱穴等

エ．出土遺物

【古 代】土師器、土製品

【近 世】陶磁器、鉄製品、青銅製品、銭貨

オ．調査成果

縄文時代の陥し穴とみられる溝状土坑が数多く確認されたことから、縄文時代には狩猟場であったと考えられる。

古代の遺構は竪穴建物跡と溝跡が検出されたが、出土遺物から、奈良時代に集落が営まれていたとみられる。

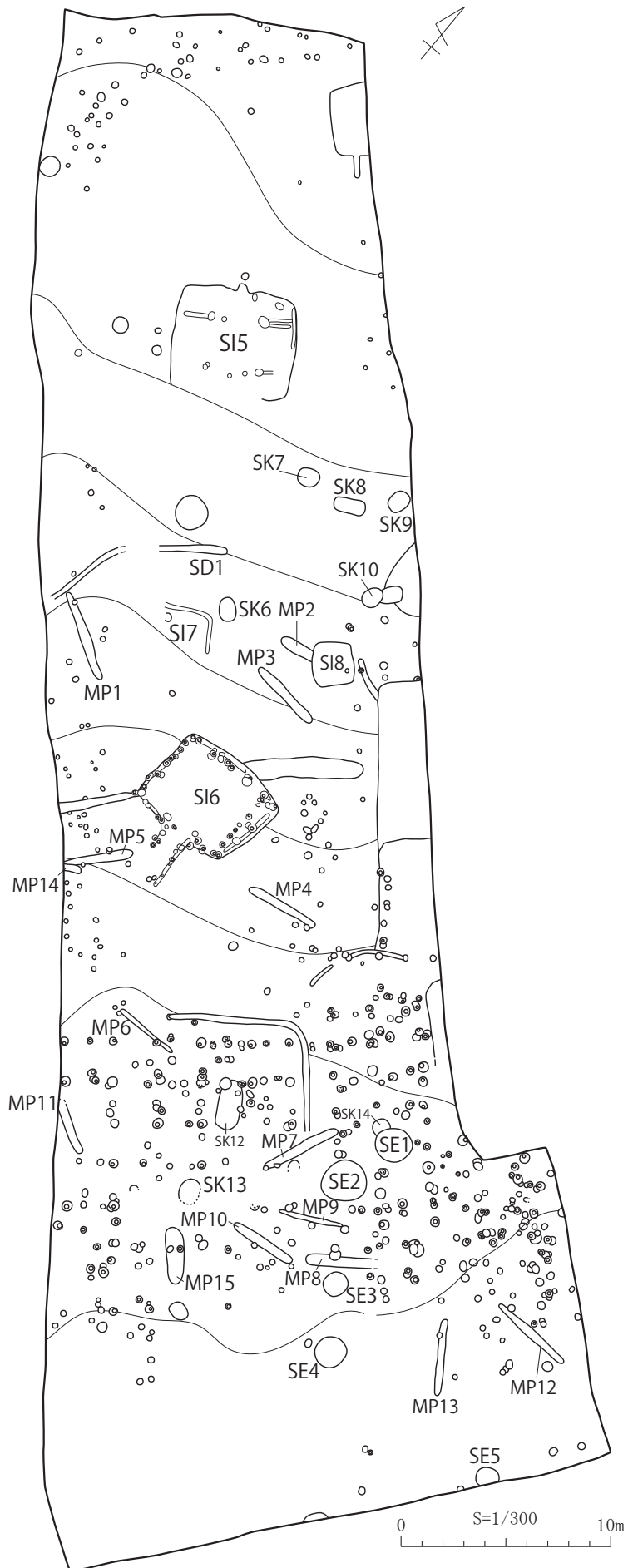
近世の遺構は、調査対象地内で標高の最も高い位置に土坑墓、続いて竪穴建物跡、最も標高の低い南側に井戸及び掘立柱建物跡の可能性のある柱穴を多数検出し、遺構の配置に特徴がみられた。また、近世墓からは、煙管・鏡等の青銅製品、和鉄等の鉄製品、木製の櫛等多くの副葬品が出土した。



近世の竪穴建物跡



近世の土坑墓の出土品



雷遺跡第5地点 遺構配置図

④市子林遺跡第22地点 (p27-No34)

調査地：八戸市大字新井田字坂 20-8

担当職員：村木 淳

検出遺構：土坑3基、ピット群

出土遺物：縄文土器、土師器、陶磁器、鉄製品、
銭貨

調査概要：古代以降とみられる土坑1基、近世以降とみられる土坑2基、掘立柱建物を構成するとみられるピット群を検出した。今回の調査区に隣接する21地点では、縄文時代・平安時代・近世以降の遺構を検出しており、本地点を含む遺跡北端部には同時代の遺構の広がりが予想される。



調査区全景

⑤松長根遺跡第2地点 (p27-No35)

調査地：八戸市大字田面木字松長根 17-2、16-5、16-2

担当職員：横山 寛剛

検出遺構：竪穴建物跡1棟

出土遺物：縄文土器、弥生土器、石器

調査概要：

ア．遺跡の概要

本遺跡は馬淵川右岸に形成された標高32～56mのあかね段丘上に立地する。本遺跡では昭和56年(1981)に、農作業中に発見されたとされる縄文時代後期の完形の注口土器1点が発見されている。

イ．調査に至る経緯

本地点は、調査を行う前は埋蔵文化財包蔵地の範囲外であった。個人住宅建築に伴う砕石パイルによる地盤改良工事が行われた際に、遺物が出たとの連絡があった。このため、文化財保護法第99条に基づき、住宅建築に先立ち平成29年9月26日に試掘調査を行った。その結果、弥生時代の竪穴建物跡1棟と多量の弥生土器が検出された。これを受け、八戸市教育委員会は住宅建築業者と協議を行い、住宅建築に先立ち本発掘調査を行うことで合意した。調査期間は平成29年10月2日から10月13日、調査面積は41㎡である。

ウ．検出遺構

弥生時代の竪穴建物跡1棟を検出した。

エ．出土遺物

竪穴建物跡から多量の弥生土器が出土した。建物跡の覆土には多量の焼土や炭が含まれており、出土遺物は建物が火災等により焼失した際に廃棄されたものとみられ、良好な一括資料である。

オ．調査成果

床面直上から検出した炭化材の放射性炭素年代(AMS測定)とウィグルマッチングによる暦年代推定を行った。その結果、年代の候補が300cal BC頃にほぼ絞られることがわかった。出土遺物の特徴と床面直上出土の炭化材の年代測定結果から、竪穴建物跡は弥生時代中期初頭のものと考えられる。



弥生時代の竪穴建物跡(西から)

3. 発掘調査報告書

平成29年度に実施した発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計7冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	櫛引遺跡第5地点	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第159集	苧坪祐樹・村木淳	平成30(2018)年 2月28日
	所収遺跡名：櫛引遺跡				
2	熊野堂遺跡第6地点	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第160集	苧坪祐樹・宇部則保	平成30(2018)年 3月28日
	所収遺跡名：熊野堂遺跡				
3	下水道整備工事に伴う 発掘調査報告書4	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第161集	苧坪祐樹・小笠原善範・ 田中美穂	平成30(2018)年 3月28日
	所収遺跡名：坂中遺跡第3地点、 綾久保遺跡第1地点、石橋遺跡第9地点				
4	松ヶ崎遺跡第18地点 田面木遺跡第48地点	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第162集	宇部則保・横山寛剛・ 西村広経	平成30(2018)年 3月24日
	所収遺跡名：松ヶ崎遺跡第18地点、 田面木遺跡第48地点				
5	林ノ前遺跡IX	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第163集	西村広経・宇部則保・ 杉山陽亮・田中美穂	平成30(2018)年 3月24日
	所収遺跡名：林ノ前遺跡				
6	史跡是川石器時代遺跡 発掘調査報告書II	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第164集	横山寛剛	平成30(2018)年 3月28日
	所収遺跡名：一王寺遺跡				
7	八戸市内遺跡発掘調査報告書38	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第165集	小保内裕之・横山寛剛・ 田中美穂・苧坪祐樹・ 西村広経・宇部則保・ 村木淳・小笠原善範	平成30(2018)年 3月28日
	所収遺跡名：酒美平遺跡第18地点、 八戸城跡第38・39地点、櫛引遺跡第6・7・8地点、 雷遺跡第5地点、新井田古館遺跡第31地点、 館平遺跡第29地点、市子林遺跡第22地点、 熊野堂遺跡第5・6地点、松長根遺跡第2地点、 田面木遺跡第49地点				

平成29年度刊行埋蔵文化財調査報告書一覧

4. 情報公開

(1) 平成29年度遺跡調査報告会

平成29年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。1階体験交流室を報告会場、2階研修室を出土品展示会場とし、市内外から58名の参加があった。

開催日時：11月11日(土) 13:00～16:00

報告内容：

【報告遺跡】 14:00～16:00

- ・一王寺遺跡(是川地区)縄文時代
- ・熊野堂遺跡(長根地区)平安時代
- ・新井田古館遺跡(新井田地区)中世
- ・雷遺跡(中居林地区)近世

【主な展示】 13:00～16:00

- ・一王寺遺跡の縄文土器・石器、整理中の魚骨・貝殻等の動物遺存体
- ・松長根遺跡の弥生土器・石器
- ・熊野堂遺跡の土師器、緑釉陶器
- ・新井田古館遺跡の陶磁器、鉄製品
- ・雷遺跡の煙管・銭貨



平成29年度遺跡調査報告会 会場の様子



展示解説の様子(出土品展示)

5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業

事業計画 平成24～33年度に是川遺跡出土品の保存修理及び保存台製作を実施する予定である。

期間 平成29年7月3日～平成30年2月23日

概要 平成23年に是川遺跡出土品330点が重要文化財に指定された。この指定品には多数の木製品や漆製品が含まれており、発掘調査後に保存処理を施しているが、欠損や脆弱な部分、経年的な劣化が認められる。また、土器・石器等には石膏の充填、接合部の剥離等が認められる。資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し活用に役立てるため、保存修理を実施する。また、万全の保管体制を確保するため、専用の保存台を製作する。

内容 壺形土器2点、鉢形土器1点、樹皮製容器残欠6点、石斧柄1点の保存修理を実施した。樹皮製容器残欠と石斧柄については保存台を作成した。樹皮製容器残欠の保存台は、保存修理を実施した6点を含む同一個体とみられる18点を一括して安置できる仕様となっている。

受託者 株式会社吉田生物研究所（京都府）

事業費 5,070千円（50%国庫補助）



壺形土器修理前



壺形土器修理後



樹皮製容器残欠及び保存台

是川遺跡出土品 保存修理状況

6. 埋蔵文化財活用活性化事業

事業計画 平成25～30年度までの6ヶ年で平成24年度までの出土品の収蔵整理及びデータベース化を行う。

期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

概要 収蔵資料の体系化を目的とし、①収蔵品のデータベース化及び再整理・再収納と②写真原版の保存修理及び公開活動を実施している。

内容 ①収蔵品再整理

平成29年度は、新井田古館遺跡2,149点、酒美平遺跡520点、八幡遺跡1,177点、市子林遺跡1,228点、田面木遺跡506点、館平遺跡748点、咽平遺跡43点、法霊林遺跡33点、盲堤沢(3)遺跡252点、湯ノ沢遺跡188点、計10遺跡6,844点の出土品のデータベース化を行った。

②写真原版の保存修理及び公開活動

泉山コレクションの一部である、大正末期から昭和初期の是川遺跡の発掘状況が撮影されたガラス乾板のうち、ガラスに割れや欠け等の劣化が認められるものは保存修理及び保護処置を行い、64枚のデジタル化を実施した。また、デ

ジタル化したものはパネル展にて公開した。
(→ p11)

受託者 堀内カラー株式会社（東京都・写真原版保存修理）

事業費 6,650千円（補助対象額6,560千円の50%国庫補助）



収蔵品再整理状況

V 史跡整備

1. 一王寺遺跡内容確認調査(p27-No.36)

調査地：八戸市大字是川字中居 46-2、字一王寺 29-1・2 ほか

担当職員：横山 寛剛

検出遺構：なし

出土遺物：縄文土器・石器

調査概要：本地点は縄文学習館の裏からは川遺跡記念碑へ向かう舗装道路上に位置する。本遺跡では、現地形や湧水点の位置等から、西側丘陵から中居遺跡の低湿地（H区）に注ぐ水脈の存在が予想されていた。また、本遺跡 157・169 トレンチの調査成果から、水脈は舗装道路の地下を流れていると推定した。このことを発掘調査により実際に確認するため、内容確認調査を行った。

調査の結果、水が流れる地形をはっきりと確認することはできなかった。おそらく、一本の大きな沢筋が地下を流れているのではなく、毛細血管のような地下水脈が中居遺跡の低湿地に集約されているものと思われる。

調査中、絶えず地面や土層断面から水が湧き出る状況を確認し、この水脈により、中居遺跡の低湿地に包含されている漆製品や植物質遺物が保全されていることを確認した。



調査区の湧水状況（東から）

2. 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑みて4月から10月にかけて除草を実施した。

①ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面積	約 13,000㎡
期間	4月26日～10月31日
受託者	八戸市森林組合
事業費	1,055 千円

②除草（分館敷地・是川遺跡記念碑・一王寺遺跡・堀田遺跡地内）

面積	約 65,200㎡
期間	5月1日～9月30日
受託者	株式会社昴造園建設
事業費	4,299 千円

3. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画

「是川縄文の里」整備推進のため、「史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画」を策定した。本計画では、平成28年策定の保存活用計画を踏まえ、遺跡の具体的な保存や整備・活用の方法、環境復元の方法等を定めた。

計画策定にあたり、平成29年8月にパブリックコメントを実施し、八戸市内外から35件の意見があった。寄せられた内容を反映させ、整備検討委員会、文化庁、青森県教育庁文化財保護課と協議を重ね、計画策定を進めた。

計画では、「祖先の歴史を明らかにして、将来に伝え、現代に活かす」ことを整備・活用のテーマとして掲げ、第1期として、内容確認が最も進んでいる中居遺跡と一王寺遺跡貝塚地点を先行して整備を進めることとした。

中居遺跡では、縄文時代晩期の集落全体がわかる特徴を活かし、遺跡からみつかった竪穴建物跡・水場・土坑墓・配石遺構・捨て場と、クリ・トチ等の植生環境の復元整備を行い、集落の変遷を遺跡全体で表現する。また、一王寺遺跡貝塚地点では、出土貝類と同じ現生貝類を用いた貝塚の復元整備を行う。

平成30年度は本計画を踏まえ、第1期整備基本設計を実施する。



史跡是川石器時代遺跡第1期整備の完成予想図

VI 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 平成 29 年度是川縄文館運営協議会

期日 【第1回】平成 29 年 6 月 21 日(水)13:00～
【第2回】平成 30 年 2 月 15 日(木)13:30～
会場 是川縄文館 2F 研修室
委員 岡村 道雄(会長) 石川 宏之(副会長) 高田 和徳
福田 友之 木津 正博 山下 治子 吉田 晃
概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・広報活動等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。各回とも岡村会長による議事進行で協議が行われた。第1回では、平成 28 年度事業報告と平成 29 年度事業説明のもと、展示計画や自己点検評価に関する質疑や意見があった。第2回では、平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度事業計画の説明のもとに協議を進め、学校との連携に関する提案等があった。



是川縄文館運営協議会

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第3回】平成 29 年 6 月 22 日(木)14:00～
【第4回】平成 29 年 11 月 15 日(水)14:00～
会場 是川縄文館 2F 研修室
委員 岡村 道雄(会長) 高田 和徳(副会長) 辻 誠一郎
馬場 光久 野沢 秀明 泉山 重寿 古戸 良一
概要 史跡是川石器時代遺跡の第1期整備基本計画策定を目的とし、有識者及び地権者、住民代表による検討を行う委員会。平成 29 年度は、整備基本計画案に係るパブリックコメント実施とともに、前年度から継続して整備基本計画案の審議を行った。委員会での指摘事項に基づいて計画書案の改訂作業を進め、委員からの意見聴取、及び文化庁・県との協議を行い、平成 30 年 3 月に『史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画』を策定した(→ p39)。



史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

(3) 平成 29 年度是川縄文館懇談会

期日 平成 30 年 2 月 22 日(木) 14:30～
会場 是川縄文館 2F 研修室
出席者 中居町内会 田中町内会 風張町内会
是川地区振興会 是川団地町内連合会
是川文化財愛護会 八戸縄文保存協会 是川縄文隊
縄文是川ボランティア 是川縄文館職員
概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携等を得るための会合。平成 29 年度の事業報告、平成 30 年度事業計画等の説明のもとに連携の進め方について協議した。出席者からは、是川縄文館の PR 等について意見があった。



是川縄文館懇談会

2. 日記抄

月/日	事項		
平成 29 年 (2017)			
4.1	見学：八戸縄文保存協会 (2 人)	6.9	縄文土器作り・見学：吹上小学校 6 年 (85 人)
4.2	見学：株式会社読流旅行 (42 人)	6.10	見学：三八五交通株式会社 (1 人) サポートスタッフ研修会④ (18 人) 講師：当館学芸員 企画展ギャラリートーク (4 人)
4.4	見学：八戸縄文保存協会 (2 人)		取材：株式会社青森テレビ八戸支社 (7 人)
4.6	見学：八戸縄文保存協会 (4 人)	6.11	見学：明戸婦人会 (11 人)
4.9	見学：八戸縄文保存協会 (2 人)	6.13	見学：小中野地区婦人の集まり (6 人)
4.11	見学：八戸縄文保存協会 (1 人) 下見：白山台小学校 6 年 (3 人) / 悠遊クラブ (4 人)	6.14	見学：宇樽部老人クラブ (21 人) / 株式会社国際交流サービス (42 人)
4.13	ボランティア激励セレモニー (29 人)	6.16	見学：長内町老人クラブ長楽会 (14 人) / 八戸市立南郷公民館 (15 人)
4.15	視察：東京大学空間情報学センター (4 人)	6.17	考古学講座② (70 人) 講師：角田隆志氏・榎本剛治氏
4.21	縄文土器作り・見学：中居林小学校 6 年 (51 人) 見学：クラブツーリズム株式会社 (26 人) 下見：桔梗野小学校 (5 人)	6.18	見学：地底の森ミュージアムボランティア会 (27 人) / 八戸縄文保存協会 (3 人) / 立正佼成会 (2 人)
4.22	下見：白銀南小学校 (1 人)	6.20	下見：サポートセンター虹 (1 人)
4.23	見学：八戸縄文保存協会 (6 人)	6.20	縄文土器作り・見学：階上町立階上小学校 4・5・6 年 (11 人) 見学：八戸縄文保存協会 (3 人)
4.25	滑石勾玉作り・見学：南部町立南部小学校 6 年 (15 人)	6.21	平成 29 年度第 1 回は川縄文館運営協議会
4.26	滑石勾玉作り・見学：白銀小学校 6 年 (41 人)	6.22	滑石勾玉作り・見学：小中野小学校 6 年 (6 人)
4.27	土製ペンダント作り・見学：旭ヶ丘小学校 6 年 (66 人)		縄文土器作り・見学：田子町立上郷小学校 3・4・5・6 年 (20 人)
4.28	企画展内覧会：報道関係・ボランティア (19 人) 滑石勾玉作り・見学：おいらせ町立甲洋小学校 6 年 (28 人) 見学：八戸ロータリークラブ (5 人)		見学：東北町中央公民館 (24 人) 第 3 回は川石器時代遺跡整備検討委員会 常設展最新研究内覧会 (10 人)
4.29	縄文土器野焼き (17 人) 於分館 企画展一日考古学者体験 (39 人) 見学：八戸縄文保存協会 (2 人) 視察：総務省大臣官房企画課 (4 人) 取材：株式会社デーリー東北新聞社 (1 人)	6.23	見学：認定こども園マリアンハウス幼稚園 (51 人) / 県職員退職者の会 (8 人)
5.2	土製耳飾り作り・見学：白山台小学校 6 年 (82 人) 見学：白銀南小学校 6 年 (68 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人) 下見：西白山台小学校 5・6 年 (4 人)	6.24	サポートスタッフ研修会⑤ (16 人) 講師：当館学芸員
5.4	見学：ポストタクシー株式会社 (1 人) / 株式会社レバンス (5 人)	6.25	見学：八戸縄文保存協会 (2 人)
5.5	見学：八戸縄文保存協会 (4 人)	6.27	縄文土器野焼き (17 人) 於分館
5.6	滑石でペンダント作り教室 (16 人) 見学：建設 NRT 株式会社 (14 人) / 跡見学園女子大学 (1 人)	6.28	滑石勾玉作り・見学：頰家南幼稚園 (29 人) 下見：ジオツアー (5 人)
5.7	見学：有限会社イニシオ (1 人)	6.29	縄文土器作り・見学：階上町立道仏小学校 6 年 (16 人)
5.10	縄文土器作り・見学：新郷村立戸来小学校 6 年 (10 人) 見学：ポストタクシー株式会社 (2 人) / 八戸市社会福祉協議会南郷デイサービスセンター (20 人) 取材：株式会社八戸テレビ放送 (2 人)	6.30	サポートスタッフ研修会⑥ (17 人) 講師：当館学芸員 見学：岩手県北観光 (22 人) / 八幡平市統計調査員協議会 (5 人) 視察：福島大学考古学研究室 (7 人) 合掌土器作り教室 (18 人)
5.11	滑石勾玉作り・見学：こども支援センター適応指導教室 (13 人) 見学：八戸市社会福祉協議会南郷デイサービスセンター (26 人) / また旅くらぶ (13 人)	7.1	滑石勾玉作り：あおもり JOMON フェスタ (104 人) 於イオンモール下田 見学：弘南バス株式会社 (38 人) 視察：福島大学考古学研究室 (14 人)
5.12	土製耳飾り作り・見学：西白山台小学校 5・6 年 (123 人) 見学：八戸市社会福祉協議会南郷デイサービスセンター (27 人)	7.3	縄文土器作り・見学：青森県立八戸第二養護学校小学部 6 年 (7 人)
5.13	考古学講座① (106 人) 講師：岡田康博氏 企画展ギャラリートーク (26 人) 見学：八戸縄文保存協会 (2 人) 取材：株式会社デーリー東北新聞社 (1 人) / 株式会社東奥日報社 (1 人)	7.4	見学：悠遊クラブ (33 人)
5.16	滑石勾玉作り：個人体験学習 (6 人)	7.6	見学：葛巻福祉大学垂柳学級 (20 人) / 上尾桶川伊奈衛生組合 (23 人) 取材：株式会社青森テレビ (2 人)
5.17	見学：富士市議会自民党政政会 (5 人)	7.7	合掌土器作り・講話・見学：平成 29 年度初任者研修 (37 人) 講師：当館館長
5.18	見学：仙台八戸会 (6 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)	7.8	第 3 回平成 29 年度八戸市史講座 (23 人) 講師：当館館長
5.19	見学：ベルエポック (7 人)	7.9	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
5.20	サポートスタッフ研究会① (19 人) 講師：当館学芸員 見学：北日本トラル株式会社 (20 人)	7.9	見学：株式会社カネイリ (8 人)
5.21	見学：三八五交通株式会社 (1 人) 取材：読売新聞社 (1 人)	7.11	グッジョブウィーク：大館中学校 2 年 (2 人) 見学：江陽小学校 6 年 (34 人) 取材：NHK 八戸支局 (4 人)
5.23	縄文土器野焼き (18 人) 於分館	7.12	グッジョブウィーク：大館中学校 2 年 (2 人)
5.24	講話・見学：八戸学院短期大学 (16 人) 講師：当館館長 見学：銀杏荘 (37 人) 視察：南部藩ゆかりの都市との交流事業 (4 人)	7.13	縄文土器作り・見学：南部町立名川南小学校 5・6 年 (18 人) グッジョブウィーク：大館中学校 2 年 (2 人)
5.25	見学：中野稲門会 (10 人)		滑石勾玉作り・見学：階上町立石鉢小学校 6 年 (42 人)
5.26	縄文土器作り・見学：階上町立赤保内小学校 6 年 (43 人) 講話：下長公民館 (10 人) 於下長公民館 講師：当館学芸員 見学：鮫小学校 5・6 年 (104 人) 見学：八戸縄文保存協会 (3 人) / 三八五交通株式会社 (2 人)		講話：根岸公民館 (37 人) 於根岸公民館 講師：当館館長 見学：亀の子会 (9 人) / KAKKIN 埼玉県会議 (23 人) 視察：桜井市教育委員会 (1 人)
5.27	サポートスタッフ研究会② (16 人) 講師：当館学芸員	7.14	グッジョブウィーク：大館中学校 2 年 (2 人)
5.28	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	7.15	見学：弘南バス株式会社 (17 人) / 認定こども園貴福幼稚園 (16 人)
5.30	縄文土器作り・見学：城下小学校 6 年 (46 人)	7.15	考古学講座③ (58 人) 講師：八重樫忠郎氏 視察：平泉町まちづくり推進課 (2 人)
6.2	縄文土器作り・見学：五戸町立倉石小学校 6 年 (22 人) 合掌土器作り：市民学校は川遺跡講座 (10 人) 於下長公民館 見学：千葉学園高等学校 (3 人) / 八戸縄文保存協会 (5 人)	7.16	滑石勾玉作り・火起こし・見学：石手洗子ども会 (12 人) 見学：弘南バス株式会社 (40 人) / 八戸市母子寡婦福祉会 (29 人) 視察：長デザイン事務所 (5 人)
6.3	サポートスタッフ研修会③ (19 人) 講師：当館学芸員 見学：弘前縄文の会 (52 人) / ライオンズクラブ (12 人)	7.19	見学：鱈ヶ沢町役場 (7 人)
6.5	縄文土器作り・見学：南部町立剣吉小学校 6 年 (27 人) 見学：十和田市民図書館 (12 人)	7.20	滑石勾玉作り・見学：田子町立田子小学校 6 年 (35 人)
6.6	火起こし・滑石勾玉作り・見学：南部町立杉沢小学校 (14 人)	7.21	見学：弘南バス株式会社 (63 人)
6.7	火起こし・見学：青森県立八戸第一養護学校 6 年 (2 人)	7.22	取材：株式会社 Terminal (4 人)
6.8	滑石勾玉作り・見学：おいらせ町立百石小学校 6 年 (58 人) 見学：八戸縄文保存協会 (5 人)	7.23	特別展高校生スタッフ説明会 (27 人) 見学：十和田市老人クラブ天寿会 (30 人)
		7.25	縄文土器野焼き (17 人) 於分館 講話：むつ市論理法人会モーニングセミナー (10 人) 講師：当館館長 (於むつ市グランドホテル) 見学：第三中学校 1 年 (5 人)
		7.26	見学：第三中学校 1 年 (4 人)
		7.27	火起こし・見学：浜市川なかよしクラブ (37 人)
		7.28	視察：松阪市産業文化部文化課 (1 人) 縄文土器作り・見学：宮交観光サービス株式会社 (35 人) 見学：弘南バス株式会社 (48 人)

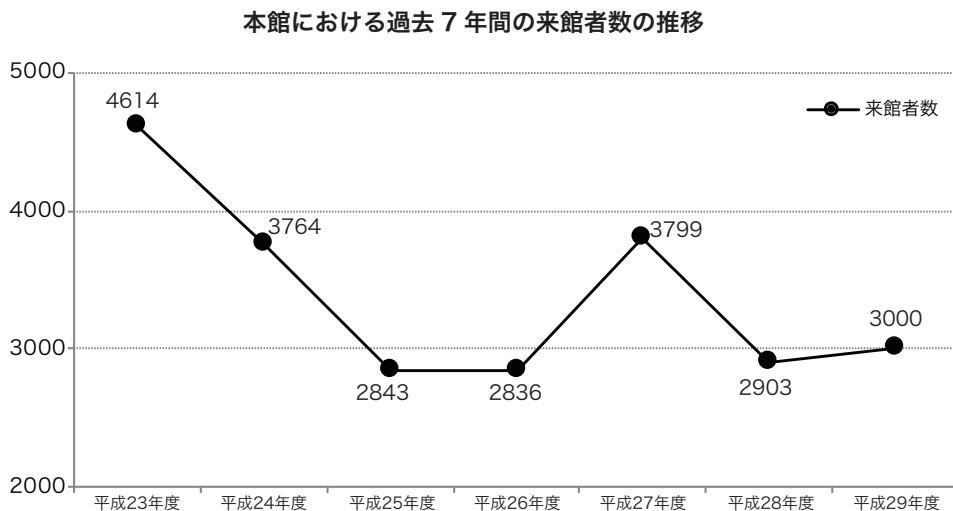
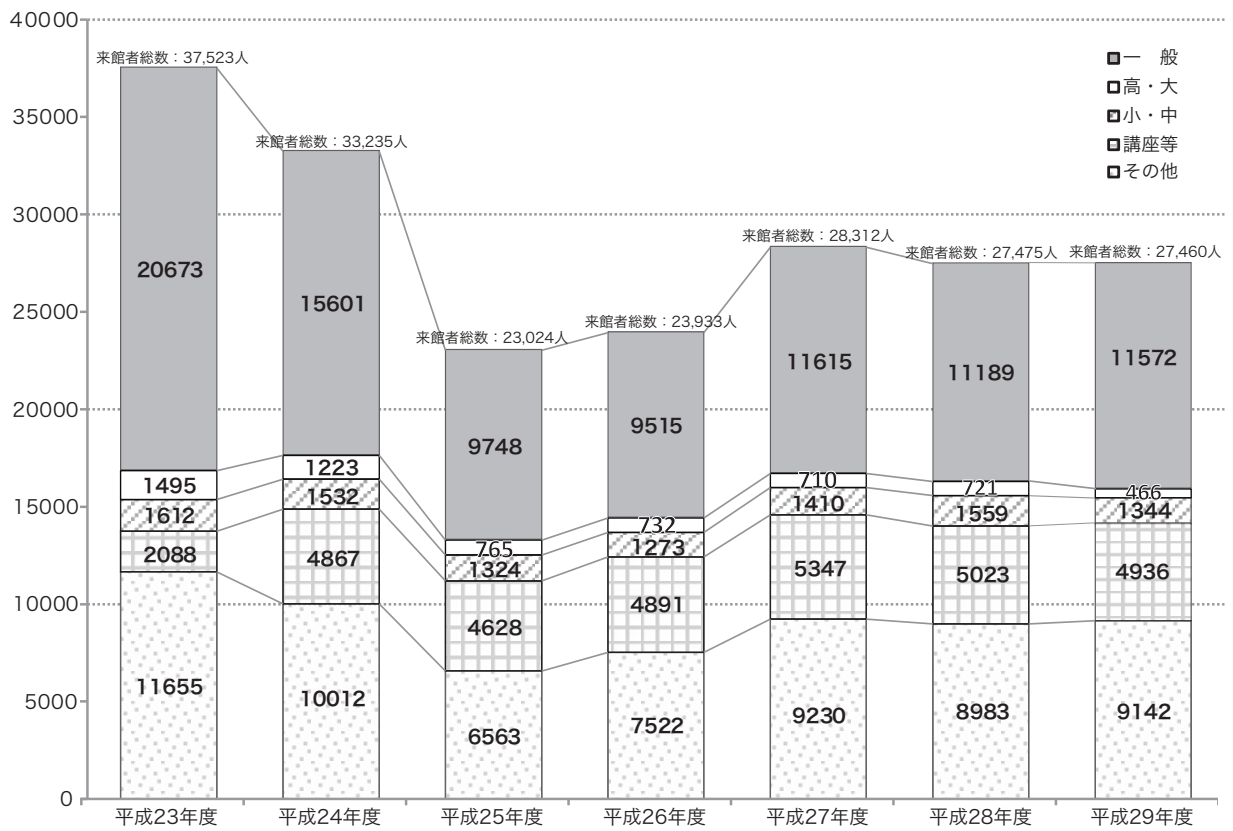
月/日	事項	
7.29	見学：ライオンズクラブ(24人)/サポートセンター虹(18人) 取材：株式会社デーリー東北新聞社(1人)	9.6
7.30	特別展高校生スタッフ説明会(54人) 見学：弘南バス株式会社(49人)/八戸縄文保存協会(4人)	9.7
7.31	火起こし・縄文の布を編む：個人体験学習(3人)	見学：弘南バス株式会社(25人)
8.1	見学：第三中学校1年(4人)/吉川出荷組合(15人)/八通観光(4人) /しもあらいことぶき会(14人)/八戸縄文保存協会(3人)	9.8
8.2	見学：JXTG 株式会社(5人)/八幡平地域づくり協議会(16人)	縄文土器作り・見学：白銀南中学校1年(92人)
8.3	見学：サクサシステム(3人)/ゆかいな仲間(26人)/真己(14人)	見学：八戸縄文保存協会(2人)/全国菱工(25人)
8.4	特別展「発掘された日本列島2017」内覧会：報道関係・ボランティア(23人) 見学：遠野市教育委員会南部藩ゆかりの都市との交流事業(35人) /津軽海峡フェリー株式会社(4人)/ポストタクシー株式会社(1人) /公益財団法人元興寺文化財研究所文化財調査修復研究グループ(4人)	9.9
8.5	講座：八戸市史講座(25人) 講師：当館館長(於八戸市博物館) 特別展ギャラリートーク(12人) 特別展高校生スタッフ研修会(19人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)	9.10
8.6	取材：株式会社デーリー東北新聞社(1人) 特別展ギャラリートーク(49人) 特別展高校生スタッフ研修会(19人) 見学：三八五流通株式会社(4人)	9.12
8.7	特別展高校生スタッフ研修会(12人)	琥珀・滑石勾玉作り：個人体験学習(2人)
8.8	特別展高校生スタッフ研修会(8人) 滑石勾玉作り・見学：個人体験学習(4人) 見学：八戸縄文保存協会(2人)/明治安田生命(24人) /(一社)みうら学・海洋教育研究所(3人)/洋野町社会福祉協議会(6人)	9.13
8.9	取材：株式会社八戸テレビ放送(2人) 特別展高校生スタッフ研修会(2人) 見学：桔梗野仲良しクラブ(20人)/有限会社大輪工業(4人)/HFG(3人)	9.14
8.10	特別展高校生スタッフ研修会(12人) 琥珀勾玉作り・見学：個人体験学習(1人) 見学：八戸縄文保存協会(3人)	9.15
8.11	取材：株式会社デーリー東北新聞社(1人)/NHK八戸支局(3人) 特別展2017開催イベント「はちのへ土偶会へようこそ！」 ・マイフェイバリット DOGU フォト大会(16人) ・土偶のお面をつくっちゃおう！(18人) ・なもみ登場(56人) ・DOGU トーク(30人) 特別展高校生スタッフ研修会(3人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)	9.16
8.12	特別展ギャラリートーク(7人) 特別展高校生スタッフ研修会(2人) 見学：八戸縄文保存協会(5人)/株式会社日経カルチャー(20人)	9.17
8.13	特別展ギャラリートーク(21人) 見学：八戸縄文保存協会(2人)	見学：静岡商工会議所(10人)/八戸縄文保存協会(1人)
8.14	取材：株式会社青森テレビ八戸支社(2人)	9.18
8.17	視察：公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団(1人)	見学：親輪会(25人)/八戸縄文保存協会(4人)/クラブツーリズム(23人)
8.18	縄文土器作り：階上町教育委員会「わんぱく王国」(16人) 於ハートフルプラザはしかみ 見学：八戸縄文保存協会(4人)	9.20
8.19	特別展ギャラリートーク(16人) 八戸市博物館博物館実習に係る見学実習(11人)	9.21
8.20	第22回は川縄文まつり(927人)於分館 特別展ギャラリートーク(17人) 八戸市博物館博物館実習に係る見学実習(11人)	9.22
8.22	見学：弘南バス株式会社(31人)/フラワー観光(45人)	見学：三沢市教育委員会(7人)
8.23	見学：三八五観光(1人)	視察：三重県総合博物館(2人)
8.24	滑石勾玉作り・見学：Local旅(2人)	講話：下長地区産業振興会(42人)於きざん八戸 講師：当館館長
8.25	見学：弘南バス株式会社(14人)/八戸縄文保存協会(7人)	縄文土器作り・見学：根城小学校6年(82人)
8.26	特別展考古学講座(62人) 講師：川畑純氏 特別展ギャラリートーク(14人) 滑石勾玉作り：個人体験学習(3人)	見学：狐禅寺千歳大学(55人)/公益財団法人元興寺文化財研究所(7人) /さくら病院デイケア(17人)/クラブツーリズム(25人)
8.27	特別展ギャラリートーク(21人)	取材：青森県世界文化遺産登録推進室(2人)
8.29	縄文土器作り：明治小学校6年(64人)於明治小学校 取材：株式会社朝日新聞社(1人)	9.23
8.30	縄文土器作り・見学：是川小学校4年(37人) 見学：JAほこた(5人)	9.26
8.31	見学：弘南バス株式会社(35人)	下見：ジオツアー(6人)於分館
9.1	下見：八戸市老人クラブ連合会(2人) 取材：株式会社デーリー東北新聞社(1人)	視察：函館市縄文文化交流センター(2人)/NPO法人国際縄文学会(2人)
9.2	縄文の布を編む講座(10人) 特別展ギャラリートーク(43人) 見学：三八五バス(16人)/八戸縄文保存協会(3人) /御所野遺跡ボランティア連絡協議会(29人)	9.28
9.3	特別展ギャラリートーク(11人) 見学：南部町立福田小学校3学年レク(63人)/六ヶ所村商工会女性部(13人)	9.29
9.4	縄文土器作り・見学：是川小学校5年(49人)	9.30
9.5	グッジョブウィーク：是川中学校2年(2人) 板状土偶作り・見学：是川小学校2年(23人) 見学：弘南バス株式会社(39人)/東中学校1年(17人)	10.1
		クッキー作り・見学：株式会社A Cプロモート(28人)於分館
		見学：NHKエンタープライズ(15人)/弘南バス株式会社(37人) /藤子町内会(23人)
		9.22
		縄文土器作り・見学：島守小学校6年(31人)
		見学：鹿角退職校長会(13人)
		見学・意見交換会：八戸ポータルミュージアム(15人)
		見学：町畑小学校5年(11人)/根城中学校1年(3人)
		見学：下長中学校1年(29人)
		滑石勾玉作り・縄文の布を編む：わくわくフェスタ2017(65人) 於八食センター
		見学：株式会社日本旅行東北(40人)/株式会社朝日旅行(22人)
		滑石勾玉作り・縄文の布を編む：わくわくフェスタ2017(76人) 於八食センター
		見学：一般社団法人北海道中小企業家同友会函館支部(6人)
		滑石勾玉作り・縄文の布を編む：わくわくフェスタ2017(93人) 於八食センター
		見学：小路合いいき会(12人)/陽清学園(6人) /ポストタクシー株式会社(1人)/優々会(29人)
		10.11
		見学：電気事業連合会(6人)/八戸法人会女性部会(12人) /野辺地町老人クラブ連合会(19人)/於雅倶楽部(18人)
		視察：八戸圏域水道企業団(3人)
		10.12
		縄文土器作り・見学：青森県老人クラブ連合会(40人)
		10.13
		企画展内覧会：報道関係・ボランティア(16人) 見学：七飯町郷土史研究会(23人) /青森県立郷土館指定管理者T T H Aグループ(13人) /八戸縄文保存協会(2人)/藤沢商工会議所(4人)
		10.14
		企画展ギャラリートーク(16人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)
		10.15
		見学：弘前縄文の会(35人)
		10.17
		見学：八戸縄文保存協会(2人) 取材：株式会社八戸テレビ放送(2人)
		10.18
		滑石勾玉作り・見学：三条小学校6年(46人) 見学：北海道埋蔵文化財センター(1人)/八戸縄文保存協会(1人)
		10.19
		縄文土器作り・見学：青森県立八戸第二養護学校小学部(16人) 見学：東あかねゴールドスタークラブ(10人)/八戸縄文保存協会(1人)
		視察：八幡平市文化財審議委員(6人)

月/日	事項	月/日	事項
10.21	縄文土器作り講座①(5人) 企画展ギャラリートーク(10人) 見学:名取市郷土史研究会(26人)	12.22	消防訓練
10.22	縄文土器の拓本作り・火起こし・見学:サポートセンター虹(12人) 見学:八戸工業高等専門学校(14人)/美徳野病院(21人) 視察:青森県農林水産部林政課(3人)	12.26	視察:八戸圏域水道企業団(3人)
10.24	見学:六和会(10人)	1.5	見学:三八五交通株式会社(1人)
10.26	是川中学校テラコッタ野焼き(145人)於是川中学校	1.6	縄文土器の拓本作り教室(7人)
10.27	縄文土器作り・見学:湊小学校6年(35人) 見学:八戸タクシー(1人) 視察:青森県企画政策部世界文化遺産登録推進室(3人)	1.10	下見:町畑小学校(2人)
10.28	縄文土器作り講座②(8人) 企画展ギャラリートーク(2人) 見学:青森県高等学校文化連盟文芸部(43人)/八戸縄文保存協会(1人) /立成俊成会八戸協会(3人)	1.12	視察:公益財団法人北海道埋蔵文化財センター(1人)
10.29	見学:エーザイ福祉共済会(10人)/とみつか(6人) 取材:NHK青森放送局(1人)	1.13	入館者20万人記念セレモニー 考古学講座⑤(54人)講師:鈴木三男氏 取材:株式会社青森テレビ(2人)/株式会社東興日報社(1人) /株式会社デーリー東北新聞社(1人)
10.31	縄文土器野焼き(13人)於分館 火起こし・見学:新井田小学校5年(7人) 見学:田村市議会(6人)/新井田小学校6年(9人) 視察:七戸町文化ガイドの会(11人)	1.20	サポートスタッフ研修会①(18人)講師:当館学芸員 滑石勾玉作り:白山台みどりのかぜ児童クラブ・西白山台みどりのもり児童クラブ(29人)
11.2	滑石勾玉作り・見学:長者小学校6年(65人) 見学:桔梗野小学校5年(15人)/三和会(19人)	1.21	見学:八戸縄文保存協会(4人)
11.4	企画展考古学講座(105人)講師:辻誠一郎氏 企画展ギャラリートーク(40人) 見学:八戸縄文保存協会(2人)/御所野遺跡ボランティア連絡協議会(17人)	1.25	見学:八戸縄文保存協会(1人)/ベストトラベル株式会社(17人)
11.5	滑石勾玉作り・取材・撮影:株式会社青森テレビ(10人)	1.26	滑石勾玉作り・火起こし・見学:町畑小学校特別支援学級(8人) 見学:八戸縄文保存協会(4人)
11.7	滑石勾玉作り・見学:多賀台小学校6年(25人) 見学:八戸縄文保存協会(1人)	1.27	サポートスタッフ研修会②(13人)講師:当館学芸員
11.8	視察:八戸市議会事務局(7人)/東北運輸局(2人)	2.1	見学:八戸縄文保存協会(1人)
11.9	見学:六ヶ所村立千歳中学校2年(12人) 視察:一戸町教育委員会(2人)	2.3	考古学講座⑥(48人)講師:阿部明義氏 滑石勾玉作り・見学:きくよし学童保育(18人) 見学:八戸縄文保存協会(1人) 視察:平取町教育委員会文化財課(2人) 見学:三八五交通株式会社(2人) 取材:袖のみちかけ(2名)
11.10	滑石勾玉作り・見学:長者中学校1年(9人) 見学:吹上小学校5年(30人) 視察:外ヶ浜町教育委員会(10人)	2.4	サポートスタッフ研修会③(26人)講師:当館館長
11.11	平成29年度遺跡調査報告会(56人) 企画展ギャラリートーク(6人) 見学:総合リハビリ美保野病院(2人)/八戸縄文保存協会(1人)	2.10	滑石勾玉作り・見学:Local旅(2人)
11.12	見学:ポストタクシー株式会社(1人)/清水建設株式会社(3人)	2.11	見学:八戸縄文保存協会(1人)
11.14	滑石勾玉作り・見学:柏崎小学校6年(99人)/青森県立八戸豊学校6年(2人)	2.12	平成29年度第2回は川縄文館運営協議会
11.15	第4回は川石器時代遺跡整備検討委員会 見学:中地区民児協(16人)/中国蘭州市交流事業(4人)	2.15	見学:八戸縄文保存協会(2人)
11.16	板状土偶作り:是川小学校2年(9人)於是川小学校 見学:あらい整形外科デイケアセンター(21人)	2.16	サポートスタッフ研修会④(18人)講師:工藤竹久氏 火起こし:かがり火えんぶり(7人)於市庁前広場 見学:八戸縄文保存協会(1人)/JXTGエネルギー株式会社(3人)
11.17	見学:中市永寿会(10人)/中市喜楽会(4人) /あらい整形外科デイケアセンター(24人)	2.18	見学:東興日報旅行センター(14人)/JXTGエネルギー株式会社(4人)
11.18	第2回は川縄文の里俳句大会表彰式 トチの実で縄文cooking(13人)於分館 企画展ギャラリートーク(15人) 見学:東北福祉大学(4人)/弘前大学日本考古学ゼミナール(13人) 視察:秋田県鹿角市議会(17人)	2.20	見学:株式会社三越伊勢丹旅行(8人) 視察:八戸市東京事務所(19人) 取材:日本放送協会仙台放送局放送部(2人)
11.19	資料調査:東北福祉大学(4人)	2.21	見学:さくシステム(6人)/株式会社ECA(2人) 視察:八戸市産業労政課(4人)
11.21	見学:新むつ小川原株式会社(5人)/雫石校長会(9人)	2.22	史跡整備地域住民説明会 是川縄文館懇談会(9人)
11.25	縄文土器作り講座③(14人)於分館 企画展ギャラリートーク(7人)	2.23	サポートスタッフ研修会⑤博物館研修(16人)引率:当館学芸員
11.26	見学:八戸縄文保存協会(1人)	2.24	サポートスタッフ研修会⑥(6人)講師:当館学芸員 見学:北海道開発技術センター(18人)/ポストタクシー株式会社(1人)
11.28	視察:東京国立博物館(2人)	2.25	えんぶり鑑賞会(150人)
11.30	見学:尻内げんきサロン(24人)	3.2	見学:三八五交通株式会社(4人)
12/1	見学:三八五交通株式会社(8人)/八戸山友会(18人)	3.3	見学:三八五交通株式会社(2人)/八戸市母子寡婦福祉会(42人) 取材:株式会社デーリー東北新聞社(2人)/株式会社レマン(4人)
12/2	縄文土器作り・講話・見学:放送大学八戸サテライトスペース(29人) 講師:当館学芸員 見学:さくらの会(15人)	3.4	トークイベント(15人)講師:竹本真紀氏・当館館長 見学:四社総代連合会(6人)
12/3	講話・見学:放送大学八戸サテライトスペース(28人)講師:当館学芸員	3.8	講演:公益財団法人シルバリーハピリテーション協会(120人) 於八戸アラザホテルアーバンホール 講師:当館館長
12/4	見学:岩手県立種市高校3年(8人)	3.9	視察:南アルプス市教育委員会文化財課(3人) 取材:青森朝日放送株式会社(5人)
12/6	見学:サクシステム(4人) 取材:創創舎(2人)	3.10	滑石勾玉作り・見学:久慈市統計調査員協議会(14人) 縄文土器作り教室(7人)
12/7	見学:八戸工業大学第一高等学校3年(39人) 取材:株式会社毎日新聞社青森支局(1人)	3.13	土製耳飾り作り・見学:米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年(43人) 見学:八戸縄文保存協会(7人)
12/9	考古学講座④(62人)講師:阿部千春氏 見学:八戸縄文保存協会(1人)/障害者デイサービス根城の家(4人) /三八五交通株式会社(4人)/清心会(7人) 取材:株式会社デーリー東北新聞社(1人)/株式会社朝日新聞社(4人)	3.14	滑石勾玉作り・見学:Local旅(2人) 見学:八戸工業高等専門学校(12人)
12.14	滑石勾玉作り・見学:南郷小学校6年(20人) 見学:ポストタクシー株式会社(1人) 取材:株式会社毎日新聞社(1人)	3.15	土製耳飾り作り・見学:米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年(40人)
12.15	パネル展「伝える 大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3」 内覧会:報道関係・ボランティア(16人) 滑石勾玉作り・見学:南部町立福地小学校6年(14人)	3.16	講話:十和田市倫理法人会(11人)於十和田富士屋ホテル 講師:当館館長 講話・視察:北奥羽開発促進協議会(11人) 講師:当館学芸員
12.20	講話:三沢市倫理法人会(15人)於三沢シティホテル 講師:当館館長	3.17	火起こし・見学:きくよし学童保育(7人)
12.21	滑石勾玉作り・見学:株式会社エーシープロモート(3人)	3.18	見学:三八五交通株式会社(3人)
		3.20	土製ペンダント作り・見学:米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年(44人) 見学:すずらん工房(21人) 取材:株式会社八戸テレビ放送(2人)
		3.24	見学:オフィスTEN(4人)
		3.25	見学:八戸縄文保存協会(2人)
		3.27	縄文土器野焼き(17人)於分館 視察:凸版印刷株式会社(4人)
		3.29	視察:苫小牧市美術博物館(1人)/十日町市博物館(3人)
		3.30	見学:立正佼成会(13人)

VI 管理運営の概要等

3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館総 入館者	開館 日数	平均 入館者	分館総 入館者	総計
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計								
4月	584	7	68	659	66	0	26	92	13	10	77	12	112	863	400	337	1,600	27	59	178	1,778
5月	1,283	51	129	1,463	93	0	41	134	51	26	125	13	215	1,812	708	418	2,938	27	109	287	3,225
6月	714	12	80	806	184	0	99	283	15	11	98	17	141	1,230	417	403	2,050	27	76	165	2,215
7月	847	11	62	920	407	8	72	487	27	18	69	17	131	1,538	521	460	2,519	27	93	143	2,662
8月	2,271	123	415	2,809	170	0	7	177	58	32	265	25	380	3,366	2,073	837	6,276	29	216	1,221	7,497
9月	1,244	29	37	1,310	329	0	53	382	52	26	224	18	320	2,012	1,309	379	3,700	27	137	402	4,102
10月	926	21	36	983	275	33	0	308	35	24	88	21	168	1,459	387	307	2,153	27	80	211	2,364
11月	624	30	32	686	69	0	0	69	11	8	99	12	130	885	887	471	2,243	26	86	162	2,405
12月	279	25	24	328	0	48	0	48	4	3	29	22	58	434	137	266	837	23	36	57	894
1月	334	11	21	366	0	0	0	0	5	2	31	15	53	419	99	316	834	23	36	33	867
2月	328	16	6	350	0	0	0	0	3	1	38	34	76	426	106	464	996	24	42	33	1,029
3月	483	41	37	561	62	0	99	161	22	12	72	33	139	861	175	278	1,314	27	49	108	1,422
計	9,917	377	947	11,241	1,655	89	397	2,141	296	173	1,215	239	1,923	15,305	7,219	4,936	27,460	314	87	3,000	30,460



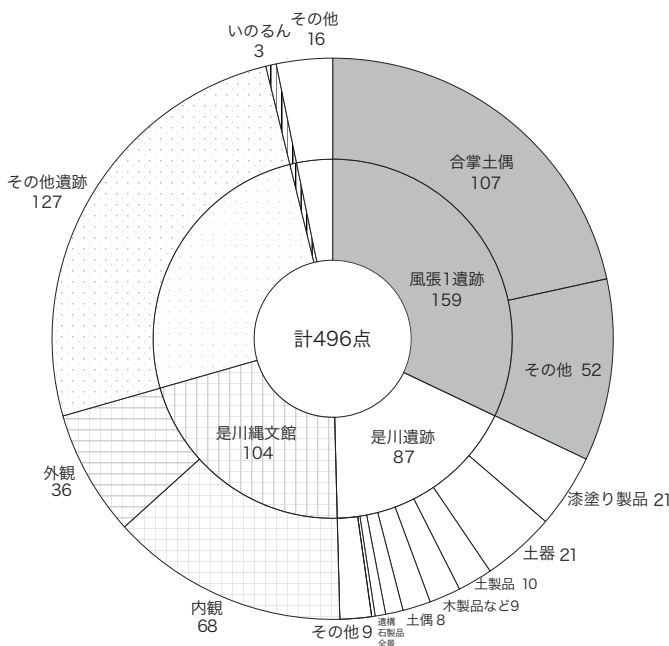
4. 市内小中学校利用状況

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
4/21	中居林小学校 6年	体験	48	9/4	是川小学校 5年	体験	46	10/19	八戸第二養護学校 4年	見学・体験	7
4/26	白銀小学校 6年	見学・体験	39	9/5	是川小学校 2年	体験	21	10/19	八戸第二養護学校 6年	見学・体験	4
4/27	旭ヶ丘小学校 6年	見学・体験	63	9/6	是川小学校 6年	見学・体験	36	10/27	湊小学校 6年	見学・体験	31
5/2	白銀南小学校 6年	見学	65	9/8	白銀南中学校 1年	見学・体験	85	10/31	新井田小学校 5年	見学・体験	6
5/2	白山台小学校 6年	見学・体験	78	9/13	是川小学校 3年	体験	30	10/31	新井田小学校 6年	見学	7
5/12	西白山台小学校 5年	見学・体験	65	9/14	是川小学校 1年	体験	25	11/2	桔梗野小学校 5年	見学	12
5/12	西白山台小学校 6年	見学・体験	52	9/15	城北小学校 6年	見学	84	11/2	長者小学校 6年	見学・体験	61
5/26	鮫小学校 5年	見学	50	9/15	桔梗野小学校 6年	見学	35	11/7	多賀台小学校 6年	見学・体験	23
5/26	鮫小学校 6年	見学	48	9/22	根城小学校 6年	見学・体験	77	11/10	吹上小学校 5年	見学	28
5/30	城下小学校 6年	見学・体験	42	9/28	西園小学校 6年	見学	5	11/14	八戸聾学校 6年	見学・体験	1
6/7	八戸第一養護学校 6年	見学・体験	1	10/2	島守小学校 6年	見学・体験	15	11/14	柏崎小学校 6年	見学・体験	92
6/9	吹上小学校 6年	見学・体験	81	10/5	町畑小学校 5年	見学	10	12/14	南郷小学校 6年	見学・体験	18
6/22	小中野小学校 6年	見学・体験	5	10/5	根城中学校 1年	見学	3	1/26	町畑小学校 2年	見学・体験	1
7/3	八戸第二養護学校 6年	見学・体験	5	10/6	下長中学校 1年	見学	28	1/26	町畑小学校 3年	見学・体験	2
7/11	江陽小学校 6年	見学	32	10/18	三条小学校 6年	見学・体験	42	1/26	町畑小学校 6年	見学・体験	3
8/30	是川小学校 4年	見学・体験	35	計 32校 1,547人 (見学 407人 体験 170人 見学・体験 970人)							

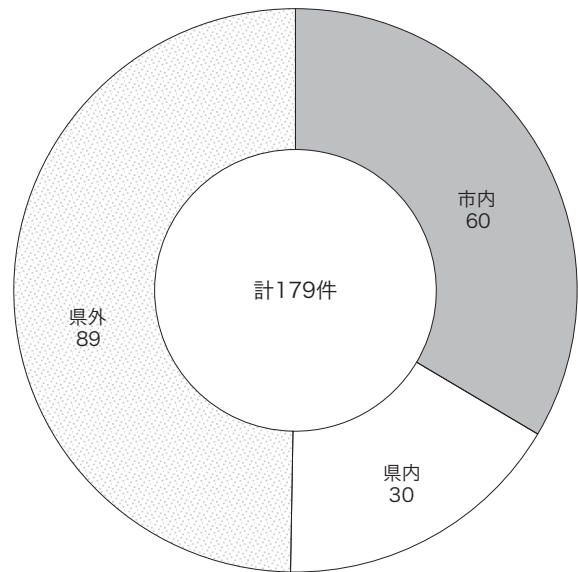
5. 資料利用状況

(1) 映像資料

平成29年度は、申請数179件、合計496点の利用申請があった。前年と比べ件数は減少したが、点数は増加した。今年度の申請者は、県内と県外でほぼ同数であった。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ利用等がある。



映像資料利用種別内訳



映像資料利用依頼先内訳

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
1	株式会社アマナ	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/12	書籍『古代文明のふしぎ』
2	独立行政法人国立病院機構青森病院	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/13	ポスター
3	東奥日報社	是川縄文館内観	1	撮影	4/13	日刊紙
4	デーリー東北新聞社	是川縄文館外観ほか	2	撮影	4/17	日刊紙
5	川口印刷工業株式会社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/20	三社大祭ポスターコンペティションのため
6	株式会社誠文堂新光社	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	5	写真貸与・掲載	4/20	書籍『知られざる縄文ライフ』電子書籍版
7	一般社団法人北海道開発技術センター東北事業所	是川縄文館外観ほか	7	写真掲載	4/21	是川縄文館パスバックスのチラシ・チケット
8	南部町立南部小学校	常設展示室	1	撮影	4/25	学年だより
9	株式会社ジェイアール東日本企画盛岡支店	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	4/26	ガイドブック『青森県・函館観光キャンペーン』
10	NPO法人三内丸山縄文発信の会	是川縄文館外観ほか	6	写真貸与・掲載	4/26	『縄文Book』
11	東奥日報社	企画展示室	1	撮影	4/28	日刊紙
12	デーリー東北新聞社	企画展示室ほか	2	撮影	4/29	日刊紙
13	大嶋 一輝	常設展示室	1	撮影	5/1	課題研究
14	株式会社日経カルチャー	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/2	『ツアー広告』
15	独立行政法人国立病院機構青森病院	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/2	『広報青い森』
16	有限会社大島スタジオ	常設展示室ほか	2	撮影	5/2	白山台小学校卒業アルバム
17	株式会社Z会	是川中居遺跡出土 壺型土器ほか	2	写真掲載	5/9	デジタル教材
18	青森県立八戸商業高等学校	是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	5/9	課題研究
19	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室及び展示室	1	撮影	5/10	ニュース
20	有限会社大島スタジオ	常設展示室ほか	2	撮影	5/12	ニ白山台小学校卒業アルバム
21	株式会社ファミリーマガジン	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/16	別冊『宝島』
22	読売新聞八戸支局	常設展示室	1	撮影	5/21	新聞
23	総合地球環境学研究所	是川縄文館内における資料見学	1	写真掲載	5/26	書籍『Reawakening Ancient Salish Sea Basketry』
24	石田写真館	常設展示室	1	撮影	5/26	鯨小学校卒業アルバム
25	青森県教育庁文化財保護課	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/30	『教育広報あもりけん』
26	東京書籍株式会社	是川石器時代遺跡出土 土器集合写真ほか	10	写真貸与・掲載	5/30	道徳教科書 教師用指導書
27	株式会社八戸テレビ放送	是川縄文館1階アトリウム	1	撮影	5/30	ニュース番組
28	五戸町立倉石小学校	常設展示室ほか	2	撮影	6/2	学校だより・学年だより
29	えびな野	是川中居遺跡 木胎漆器出土状況	1	写真貸与・掲載	6/5	ホームページ
30	広報統計課	是川縄文館外観ほか	5	写真貸与・掲載	6/6	『はちのへ暮らしの便利帳』
31	南部町立杉沢小学校	常設展示室ほか	2	撮影	6/6	社会科学習の資料、学校・学級通信等
32	えびな野	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/6	ホームページ
33	小学館 和楽編集部	国宝「合掌土偶」人形焼画像	1	写真貸与・掲載	6/7	雑誌『和楽』
34	おいらせ町立白石小学校	常設展示室ほか	2	撮影	6/8	学級通信
35	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す道民会議	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/9	縄文夏まつり展示でのパンフレット等掲載
36	スタジオ大島	常設展示室ほか	2	撮影	6/9	吹上小学校卒業アルバム
37	青森テレビ株式会社 八戸支社	常設展示室ほか	2	撮影	6/10	テレビ番組
38	青森県環境生活部県民生活文化課	是川中居遺跡出土 土偶ほか	32	撮影	6/16	書籍『青森県史』
39	階上町立階上小学校	常設展示室	1	撮影	6/20	学校新聞・学級通信
40	田村 憲一	常設展示室ほか	2	撮影	6/20	YouTube
41	是川小学校 PTA 交通安全母の会	是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与	6/23	キーホルダー製作
42	認定こども園マリンハウス幼稚園	常設展示室ほか	2	撮影	6/23	ブログ、おたより
43	株式会社国書刊行会	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	6/24	書籍『西尾幹二全集』
44	株式会社山川出版社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/1	書籍『土偶界へようこそ』紹介パネル
45	株式会社小学館	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/1	雑誌『小学8年生』3号
46	株式会社青森テレビ	是川縄文館外観ほか	2	撮影	7/6	ニュース番組
47	森下 年晃	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/7	書籍『遙かな視線に一縄文方位測量の発見』
48	株式会社小学館	風張1遺跡出土 合掌土偶（正面）	1	写真貸与・掲載	7/7	書籍『ことも国宝図鑑』
49	NHK 八戸支局	常設展示室ほか	3	撮影	7/11	ニュース番組
50	公益財団法人福島市振興公社	是川中居遺跡出土 壺形土器ほか	5	写真貸与・掲載	7/11	『上岡遺跡発掘物語』展示パネル
51	函館市縄文文化交流センター	風張1遺跡出土 合掌土偶出土状況ほか	7	写真貸与・掲載	7/11	『国宝土偶サミット』展示パネル
52	八戸市立大館中学校	常設展示室	1	撮影	7/12	活動報告新聞
53	総合リハビリ美保野病院	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/13	『元気に食べてますか？』広告物
54	イワデレしゃん倶楽部	是川縄文館外観ほか	2	撮影	7/13	鯨小学校卒業アルバム
55	株式会社創童舎	是川石器時代遺跡出土 漆塗り製品集合ほか	2	写真貸与・掲載	7/15	青森・函館周遊観光 PR イベント展示パネル
56	大東建託いい暮らしナビ事務局	是川縄文館外観ほか	4	写真貸与・掲載	7/20	『DK SELECT いい暮らしナビ』
57	株式会社新泉社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/20	書籍『中ッ原遺跡』
58	株式会社 terminal	常設展示室ほか	2	撮影	7/22	雑誌『じゃらん』
59	東奥日報社	是川中居遺跡出土 木胎漆器	1	写真貸与・掲載	7/26	日刊紙
60	松阪市文化財センター	合掌土偶レプリカ	1	撮影	7/27	資料調査
61	浜市川仲良しクラブ	常設展示室ほか	2	撮影	7/27	クラブだより
62	株式会社小学館	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/28	『ことも国宝図鑑』特別付録「合掌土偶の福笑い」
63	株式会社 NHK 出版	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/28	『趣味どきっ！国宝に会いに行く〜橋本麻里と旅する国宝ガイド』
64	公益社団法人八戸観光コンベンション協会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/28	ポスター
65	東京書籍株式会社	是川中居遺跡出土 赤漆塗り壺形土器	1	写真貸与・掲載	7/28	書籍『新選日本史 B』
66	デーリー東北新聞社	常設展示室ほか	2	撮影	7/29	日刊紙
67	佐々木 郁枝	常設展示室	1	撮影	7/30	課題研究
68	株式会社大修館書店	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/31	書籍『トータルサポート 新国語便覧』
69	谷口 和恵	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/31	カワイ音楽教室東北地区講師研究会シンポジウム要録
70	デーリー東北新聞社	企画展示室	1	撮影	8/5	日刊紙
71	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室	1	撮影	8/8	ニュース番組
72	NHK 八戸支局	企画展示室	1	撮影	8/10	テレビ番組
73	デーリー東北新聞社	展示品ほか	2	撮影	8/10	日刊紙
74	群馬県埋蔵文化財調査事業団	企画展示室ほか	2	撮影	8/8	研究
75	青森県立八戸商業高等学校	是川縄文館内観	3	写真貸与・掲載	8/11	書籍『⑧ Live』
76	東奥日報社八戸支社	土偶トーク	1	撮影	8/11	日刊紙
77	青森テレビ株式会社八戸支社	常設展示室	1	撮影	8/14	テレビ番組
78	高橋 裕士	是川中居遺跡出土の製品（木製品）	1	撮影	8/15	資料調査
79	吉田 晴美	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/19	雑誌『じゃらん』
80	八戸工業大学第二高等学校	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	8/19	学校紹介スライド

平成 29 年度映像資料利用依頼一覧 (1)

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
81	譽田 亜紀子	新井田古館遺跡出土 入れ子式土器	1	写真貸与・掲載	8/20	日刊紙
82	松阪市教育委員会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	撮影	8/26	平成29年度特別展用ポスター・チラシ
83	株式会社東日本放送	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/26	テレビ番組
84	朝日新聞社	常設展示室ほか	2	撮影	8/29	日刊紙
85	デーリー東北新聞社	企画展示室	1	撮影	9/1	日刊紙
86	福田小学校	常設展示室ほか	2	撮影	9/3	学年新聞
87	小松市埋蔵文化財センター	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/8	「輪廻群像は何を語るか」展示パネル
88	八戸市博物館	堀田遺跡出土 鉢形土器ほか	10	写真貸与・掲載	9/7	特別展「米・育てる・食べる・祈る」展示パネル等
89	階上町教育委員会	常設展示室ほか	2	撮影	9/9	「はしかみキャンパス」記録集
90	広報統計課	日曜体験教室	1	撮影	9/10	「広報はちのへ」
91	長生園	常設展示室ほか	2	撮影	9/12	「発掘された日本列島2017」見学行事
92	ビデオアートボックス	常設展示室ほか	2	撮影	9/13	根岸小学校卒業アルバム
93	有限会社フォルスタッフ	是川中居遺跡出土 スプーン形土製品ほか	2	写真貸与・掲載	9/15	雑誌「小学8年生」
94	イワダテフォトスタジオ	常設展示室	1	撮影	9/15	城北小学校卒業アルバム
95	松阪市教育委員会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/20	「土偶と生活（くらし）」図録等
96	青森県世界文化遺産登録推進室	常設展示室ほか	2	撮影	9/22	ホームページ「縄文ファン」
97	有限会社スタジオ大島	体験交流室ほか	3	撮影	9/22	根城小学校卒業アルバム
98	株式会社小学館	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/20	ウィークリーブック「ニッポンの国宝100」
99	有限会社社々の都社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/30	雑誌「街もりおか」
100	株式会社ニューサイエンス社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/30	書籍「考古調査ハンドブック 縄文文化」
101	御所野縄文博物館	風張1遺跡出土 合掌土偶（複製品）ほか	2	撮影	9/30	資料調査
102	株式会社小学館	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/5	「読売 KODOMO 新聞」
103	日本テレビ放送網株式会社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/9	ニュース番組「ZIP!」
104	株式会社ジェイアール東日本企画盛岡支店	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/11	「あおり紀行」
105	公益財団法人青森県老人クラブ連合会	常設展示室ほか	2	撮影	10/12	機関誌、ホームページ
106	名久井 文明	田向冷水遺跡出土 敲石	1	撮影・熟覧	10/13	研究
107	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室	1	撮影	10/17	ニュース番組
108	田端 麗子	館内バリアフリー	1	撮影	10/18	研究
109	八戸市民生委員児童委員協議会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/20	記念誌「みんせい八戸 PART II」
110	吉田 晴美	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/24	青森県観光国際戦略局誘客交流課配布のチラシ
111	八戸地区保護司会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/24	第39回青森県更正保護大会プログラム表紙
112	有限会社スタジオ大島	常設展示室ほか	2	撮影	10/27	湊小学校卒業アルバム
113	一般社団法人八戸建設業会	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	10/31	年賀状
114	阿部出版株式会社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/31	季刊「炎芸術」
115	株式会社グランフォート	常設展示室ほか	2	撮影	11/2	長者小学校卒業アルバム
116	株式会社プラネットライツ 時空旅人編集部	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/3	雑誌「時空旅人」
117	宇都宮大学教育学部	是川中居遺跡出土 木胎漆器ほか	3	写真貸与・掲載	11/3	大学の授業・講演会の資料
118	青森テレビ	常設展示室ほか	2	撮影	11/5	テレビ番組「わっち!!」
119	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す道民会議	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/7	パンフレット
120	イワダテフォトスタジオ	常設展示室	1	撮影	11/14	柏崎小学校卒業アルバム
121	教育出版株式会社	是川中居遺跡出土 漆塗り注口土器	1	写真貸与・掲載	11/15	デジタル教材
122	観光課	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/15	ウェブсайт
123	國華社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/17	「國華」1469号
124	東北福祉大学教育学部	田向冷水遺跡出土資料	不明	撮影	11/18	資料調査
125	株式会社坂井編集企画事務所	是川中居遺跡出土 注口土器	1	写真貸与・掲載	11/21	書籍「天然黒ぐろ 鉄と炭素のものがたり」
126	東北歴史博物館	是川中居遺跡 柄に装着した石斧（復元品）ほか	11	撮影	11/26	調査
127	観光課	是川中居遺跡出土 漆塗り篩出土状況	1	写真貸与・掲載	11/29	自動販売機広告
128	株式会社ファミリーマガジン	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/2	書籍「日本史 パノラマ大地図帳」
129	株式会社ニルソデザイン事務所	是川中居遺跡出土 土偶残欠ほか	3	写真貸与・掲載	12/2	書籍「縄文人に相談だ」
130	NHK 金沢放送局	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/4	ニュース番組
131	創創舎	国宝展示室ほか	4	撮影	12/6	情報誌「あおり縄文好」
132	株式会社いきもん	風張1遺跡出土 合掌土偶	2	写真貸与・掲載	12/8	カプセルトイ商品
133	青森県環境生活部県民生活文化課	是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	12/8	書籍「青森県史通史編1 原始 古代 中世」
134	有限会社ビッグイシュー日本	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/12	雑誌「ビッグイシュー日本版」
135	株式会社メディアシティ	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/12	書籍「バスさんぽ 八戸駅」
136	株式会社講談社第一事業局学術図書編集部	風張1遺跡出土 合掌土偶	2	写真貸与・掲載	12/12	書籍「日本の土偶」
137	毎日新聞社	是川縄文館展示品	1	撮影	12/14	日刊紙
138	南部町立福地小学校	常設展示室ほか	2	撮影	12/15	学級・学校だより
139	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	是川中居遺跡出土 イモガイ形土製品	1	写真貸与・掲載	12/21	展示パネル、図録等
140	青森県環境生活部県民生活文化課	田向冷水遺跡 SI35 完備状況ほか	3	写真貸与・掲載	12/21	書籍「青森県史通史編1 原始 古代 中世」
141	株式会社メディア・パスターズ	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/26	テレビ番組「発掘！お宝ガレリア」
142	株式会社講談社エディトリアル	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/28	書籍「(仮題) 縄文の人々」
143	阿部 明義	風張1遺跡出土 土器	34	撮影	1/4	研究
144	國華社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/19	「國華」1469号
145	NHK 報道局社会番組部	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/23	ニュース番組「4時も！シブ5時」
146	有限会社イファー	風張1遺跡出土 合掌土偶	2	写真貸与・掲載	1/24	ステージ公演 DVD
147	梶本 愛貴	是川縄文館分館 復元竪穴住居写真ほか	2	写真貸与・掲載	1/31	雑誌「じゃらん」ムックシリーズ
148	株式会社レマン	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/2	パンフレット
149	舟形町	風張1遺跡出土 合掌土偶	2	写真貸与・掲載	2/4	カレンダー
150	株式会社グレイル	是川中居遺跡出土 赤染人骨出土状況	1	写真貸与・掲載	2/4	書籍「(仮称) 新発見で読み解く 日本の神話」
151	NPO法人 共存の森ネットワーク	常設展示室ほか	2	撮影	2/4	フリーマガジン
152	一般社団法人東北観光推進機構	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/15	ウェブサイト
153	日本香粧品学会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/15	日本香粧品学会誌 vol.4
154	東京書籍株式会社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/15	書籍「新しい社会 6年」
155	株式会社東奥日報社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/20	日刊紙
156	観光課	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	2/20	「はちのへ観光ガイドマップ」
157	(公財) シルバーハビリテーション協会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/20	ポスター
158	日本放送協会仙台放送局	常設展示室ほか	2	撮影	2/20	テレビ番組
159	株式会社東映テレビプロダクション	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	8	写真貸与・掲載	2/21	テレビドラマ「特捜9」
160	日本放送協会仙台放送局	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/21	テレビ番組

平成29年度映像資料利用依頼一覧(2)

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
161	株式会社同成社	風張1遺跡出土 ヒスイの玉類	1	写真貸与・掲載	2/22	書籍『本州最北域の先史文化研究(仮)』
162	(公財)八戸観光コンベンション協会	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	2/27	パンフレット
163	株式会社宝島社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/27	『T』mook 国宝への誘い 鳥獣戯画皿2枚付き』
164	株式会社レマン	常設展示室ほか	2	撮影	3/3	雑誌『大人の休日倶楽部』5月号
165	デーリー東北新聞社	泉山コレクション	1	撮影	3/3	日刊紙
166	株式会社フィフス・ディメンション	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/6	雑誌『EPTA』86号
167	株式会社ザ・ワークス	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	5	写真貸与・掲載	3/6	テレビ番組
168	青森朝日放送株式会社	常設展示室ほか	3	撮影	3/8	テレビ番組
169	青森県教育庁文化財保護課	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	3/14	縄文時遊館内展示
170	東京国立博物館	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	8	写真貸与・掲載	3/16	『縄文—1万年の美の鼓動』展図録等
171	東北日本の旧石器文化を語る会	田向冷水遺跡の調査風景写真	1	写真貸与・掲載	3/16	論集『(仮)東北日本の旧石器』
172	株式会社KADOKAWA	風張1遺跡出土 合掌土偶	3	写真貸与・掲載	3/20	書籍『縄文土器・土偶』
173	一般社団法人道南歴史文化財団	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/20	函館市縄文文化交流センターガイドブック改訂版
174	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室及び展示品	1	撮影	3/20	テレビ番組
175	帆風美術館	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/21	『国宝重文』展図録
176	株式会社宝島社	是川中居遺跡出土 壺形土器ほか	10	写真貸与・掲載	3/21	書籍『日本史の新常識』
177	八戸市田向土地区画整理組合	風張1遺跡 合掌土偶出土住居ほか	93	写真貸与・掲載	3/28	記念誌『田向の風土記』
178	株式会社レマン	縄文学習館	1	写真貸与・掲載	3/31	『大人の休日倶楽部』
179	株式会社レマン	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	3/31	『東北歴史文化講座』ウェブサイト
180	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	田向冷水遺跡 カマド付き竪穴住居跡ほか	4	写真貸与・掲載	3/31	展示パネル、図録等

平成29年度映像資料利用依頼一覧(3)

(2) 実物資料

平成29年度は申請件数9件、合計85点の貸出を許可した。このうち、中居遺跡の漆塗り製品及び漆要具は、縄文時代晩期中居遺跡における、漆液の生産から塗りまでの漆器生産の工程や当時の高い技術をうかがわせる資料であり、当時の漆工芸を考える上で重要である。出展先の国立歴史民俗博物館「URUSHI ふしぎ物語」展では、縄文時代の漆工芸の技術を伝える資料として一角を飾った。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡出土 甕形土器・管玉、 是川遺跡出土 骨角器、八戸城跡出土土偶 様壺形土器ほか 計46点	H29.4.1～ H30.3.31	常設展示
2	国立歴史民俗博物館	中居遺跡出土 漆塗り腕輪・櫛・漆漉し布・ 樹皮製容器・石皿・ベンガラ容器・水銀 朱容器ほか 計11点	H29.6.5～ H29.10.3	企画展示「URUSHI ふしぎ物語-人と漆の 12000年史-」
3	八戸市博物館	八戸城跡出土 小柄 1点	H29.7.3～ H29.8.31	夏期特別展「キレモノ-八戸市博物館所蔵 刀剣資料展-」
4	八戸市博物館	田向遺跡出土 炭化米、田向冷水遺跡出 土 炭化米、風張1遺跡出土炭化大麦 計5件	H29.7.26～ H29.11.30	市制施行88周年特別展「米-育てる・食べる・ 祈る-」の展示、CT撮影及びDNA分析
5	八戸市博物館	市子林遺跡出土 狩猟文土器 1点	H29.8.3～ H29.9.30	常設展示
6	函館市縄文文化交流センター	風張1遺跡出土 合掌土偶(複製品) 1点	H29.8.17～ H29.9.30	企画展「土偶サミット」
7	八戸市博物館	堀田遺跡出土 鉢形土器、中居遺跡 壺形土 器、田向冷水遺跡出土 土器器甌他 計 15点	H29.9.30～ H29.11.24	市制施行88周年特別展「米-育てる・食べる・ 祈る-」
8	松阪市文化財センター	風張1遺跡出土 合掌土偶(複製品) 1点	H29.10.11～ H29.12.21	特別展「土偶と生活(くらし)」
9	御所野縄文博物館	風張1遺跡出土 合掌土偶(複製品)・ア スファルト容器、中居遺跡出土 ヤス軸柄 (複製品)ほか 計4点	H29.11.8～ H29.12.26	企画展「えっ?!縄文時代にアスファルト?」

平成29年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫及び一般収蔵庫がある。特別収蔵庫には重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約700点を収蔵している。一般収蔵庫にはそのほかの土器、石器、土製品、石製品等が約2,500箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

平成29年度は発掘調査で出土した遺物のうち、整理作業が終了した1,584点、200箱を新たに収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員

会の発掘調査では、35mmフィルムカメラとデジタルカメラを併用して記録写真を撮影している。発掘調査の記録には恒久的な保管が求められるが、デジタルデータの長期的な保管方法については課題とされてきた。記録媒体として光ディスクを用いる場合、初期の書き込み品質の確保と、定期的な品質検査による媒体移行が必要となる。

そこで平成27年度からは、デジタルデータの長期保存運用方法の規格であるJIS Z6017に準拠したアーカイブBDドライブ（パイオニア製 BDR-PRIMC-U-AL）及びブルーレイディスクを導入することとした。現在、蓄積されてきたデジタルデータを媒体に移行する作業を順次進めており、今後定期的な品質検査・媒体移行を実施していく予定である。

(4) 図書

図書については、50,356冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書のうち24,243冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書である。江坂図書は学史上重要な文献から外国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

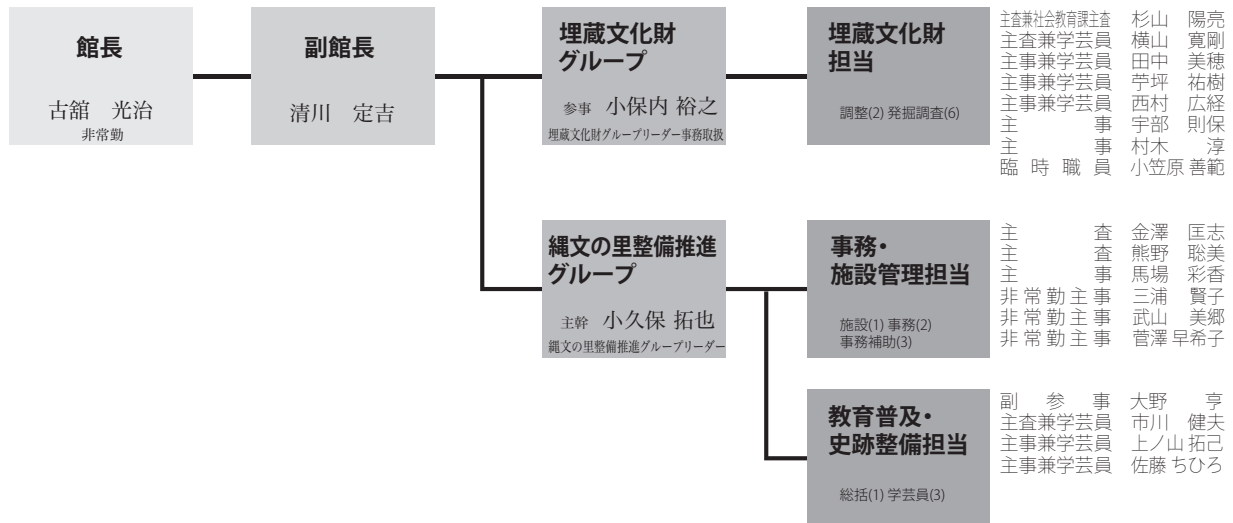
平成29年度は784冊（うち寄贈737冊、購入47冊）を新たに追加した。

7. 予算概要 ※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額（円）	備考
運営経費		98,058,000	
《内訳》	施設維持管理	77,584,000	
	一般管理事務経費	20,474,000	
特別展・体験事業等開催事業費		29,567,000	
《内訳》	特別展経費	9,027,000	
	企画展経費	13,794,000	
	共同研究経費	639,000	
	教育普及経費	6,107,000	
是川縄文の里整備事業費		78,155,000	
発掘調査事業費		61,425,000	
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	38,337,000	
	八戸城跡発掘調査事業費	12,517,000	
	櫛引遺跡発掘調査事業費	731,000	
	新井田古館遺跡発掘調査事業費	7,350,000	補正予算
	文化財調査管理事務経費	2,490,000	
埋蔵文化財保存活用費		15,471,000	
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	10,026,000	
	是川遺跡出土品保存修理事業費	5,445,000	
合 計		282,676,000	

VII 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成7年 【会員数】145名（法人会員含む）

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙等

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、スタンプラリーといったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。平成29年度は、8月20日(日)に22回目となる「これかわ縄文まつり」を開催した。

3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和49年 【会員数】13人

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動、及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。

特に環境整備等の活動では、平成6年に実施された分館敷地内の復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。

平成24・25年度には復元竪穴住居2棟の修繕を実施した。

3年ぶりに天候に恵まれ、ステージイベントが行われたほか、縄文体験コーナーや縄文鍋・トチもちのふるまい等の各種イベントも好評であった。また、新たな試みとして近隣の大学による出店も行われ、平成29年度は約900人の来場者があった。

秋には、「第2回是川縄文の里俳句大会」を開催し、学生の部・一般の部あわせて874作品の応募があった。その中から優秀な作品を選考し、縄文館内で表彰を行った。

また、当協会は、「青森県の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。



これかわ縄文まつりの様子

4. 是川縄文隊

【設立年】平成24年 【会員数】10人

【目的・活動】

是川地域住民の宝である、是川縄文遺跡の保存・活用に寄与するとともに、是川縄文館を核とした「是川縄文の里」の地域振興を図ることを目的に発足。当団体では、

- ①是川縄文館来館者への地域のPR
- ②是川縄文館来館者増につながる地域特性を活かした活動
- ③是川縄文遺跡の保存・活用・PRにつながる活動に関する事業を行う。平成29年6月17日から11月11日までに是川縄文館敷地内において、地域振興を図ることを目的に来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売するなど、地域のPR活動を行った（11回開催）。



是川縄文隊の活動の様子

5. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成8年 【会員数】47人

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

- ①縄文体験コーナー②土曜日体験教室③グループ・団体の体験学習の指導④縄文土器野焼き⑤学校・公民館等での体験学習の指導⑥研究・研修・学習会⑦是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド

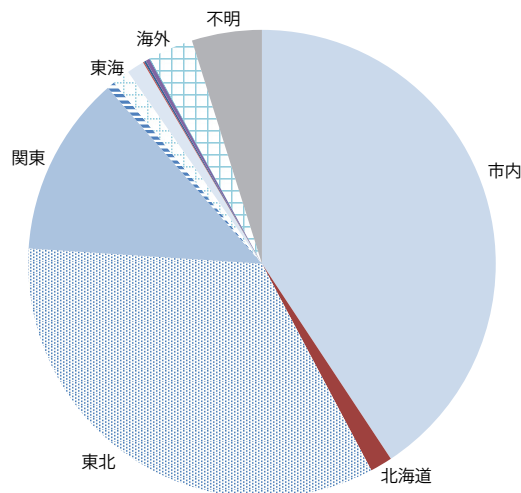
【活動実績】※体験学習指導の詳細については、Ⅲ-3教育普及の実績、Ⅵ-2日記抄を参照されたい。



サポートスタッフ研修会の様子

月	開館 日数	延人数	一日平均 人数
4	27	218	8
5	27	225	8
6	27	240	8
7	27	280	10
8	29	271	9
9	27	239	8
10	27	244	9
11	26	235	9
12	23	167	7
1	23	156	6
2	25	180	7
3	27	199	7
計	315	2,654	8

縄文是川ボランティア
活動人数



縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況
※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握

利 用 案 内

○開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生・小学生	50 円	30 円

※市内65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方は半額。特別展は料金が変わります。

○休館日 毎週月曜日（第一月曜日・祝日・振替休日の場合は開館）

祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）

年末年始（12月27日～1月4日）

※上記以外の臨時開館・臨時休館があります。

○交 通 バス：JR八戸駅から土日祝日のみ南部バスで22分

ラピアバスターミナル・中心街から南部バス（J42、J112）で約25分

中心街バスターミナル3（中央通）南部バスで約20分

自動車：八戸自動車道・八戸ICから約10分

○駐車場 本館：普通車86台 大型バス6台 障がい者用3台

分館：普通車30台

○所在地 本館：青森県八戸市大字是川字横山1 TEL 0178-38-9511 FAX0178-96-5392

分館：青森県八戸市大字是川字中居3-1 TEL 0178-96-1484

○ホームページ <http://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年 報

第 7 号 -平成 29 年度-

発 行 日 2018 年 6 月 14 日
編 集 ・ 発 行 八戸市教育委員会
八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
〒 031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1
TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392
印 刷 有限会社 協同印刷
〒 039-1101 青森県八戸市尻内町字尻内河原 49-1
TEL 0178 (27) 4134 FAX 0178 (27) 3263